

---

---

岡崎市市民意識調査

報告書

---

---

平成 29 年 2 月

岡崎市



# 岡崎市市民意識調査 報告書

## 目次

I 調査の概要 .....	1
II 調査結果 .....	3
A 属性 .....	3
B 岡崎市のまちについて .....	4
C 公共施設について .....	25
D 市の取組に対する満足度・重要度について .....	30
E 自由回答 .....	46
参考：調査票 .....	57



## I 調査の概要

### 調査内容

- ・調査対象  
18歳以上の岡崎市民 5,000人  
(住民基本台帳から無作為に抽出)
- ・調査方法  
郵送による配布・回収
- ・調査期間  
平成28年7月1日から平成28年7月20日
- ・回収状況  
配布数 5,000 回収票数 2,877 回収率 57.5%
- ・調査結果の見かた
  - (1) 回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。
  - (2) 基数となるべき実数は、Nとして掲載した。すべての比率は、Nを100%として算出している。
  - (3) 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。そのため、各項目の比率を合計すると100%を超える。
  - (4) 各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地域、年齢）によるクロス集計結果及び過去の調査結果（平成18年度、平成20年度、平成23年度、平成25年度実施）との比較について記載を行っている。

## 調査項目

### A 属性

- ・性別（問 1）
- ・年齢（問 2）
- ・職業（問 3）
- ・居住年数（問 4）
- ・家族構成（問 5）
- ・居住地域（問 6）

### B 岡崎市のまちについて

- ・岡崎市の住みやすさ（問 7）
- ・住みよいと思う理由（問 7-1）
- ・住みにくいと思う理由（問 7-2）
- ・居住継続意向（問 8）
- ・市政関心度（問 9）
- ・市政に関心がある理由（問 9-1）
- ・市政に関心がない理由（問 9-2）
- ・市政に関心を持ってもらう施策（問 9-3）

### C 公共施設について

- ・過去 5 年間の施設利用状況（問 10）
- ・利用した施設の種類（問 10-1）
- ・公共施設の移転場所についての考え方（問 11）

### D 市の取組に対する満足度・重要度について

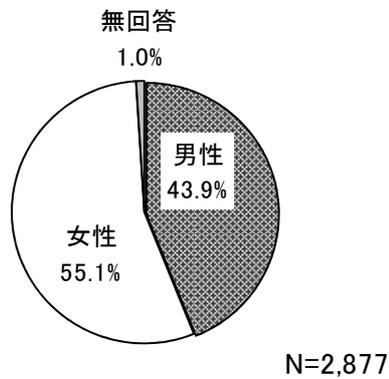
- ・市の行政施策に係る「現状の満足度」（問 12（1））
- ・市の行政施策に係る「今後の重要度」（問 12（2））

### E 自由回答

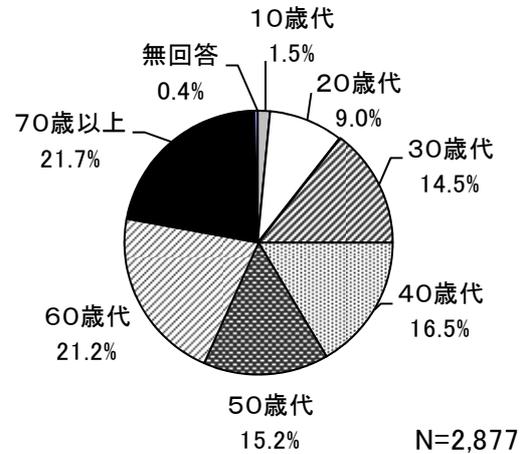
## II 調査結果

### A 属性

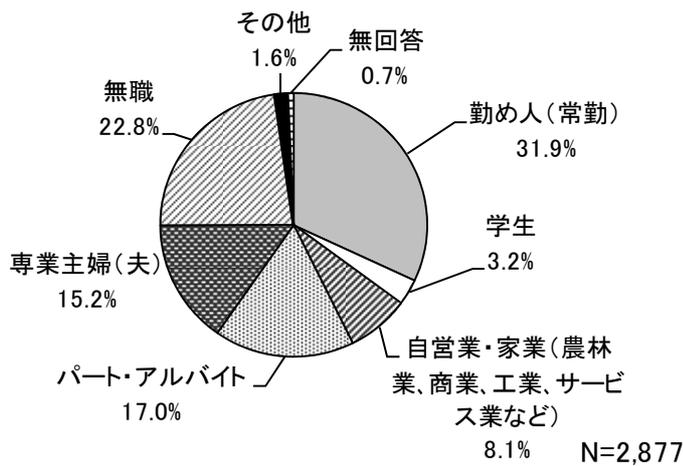
#### 問1 性別



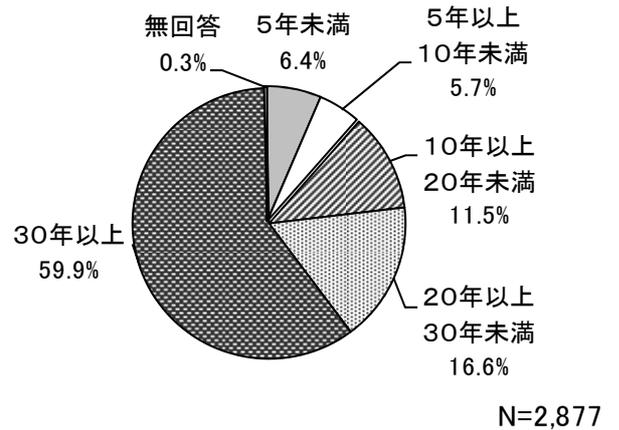
#### 問2 年齢



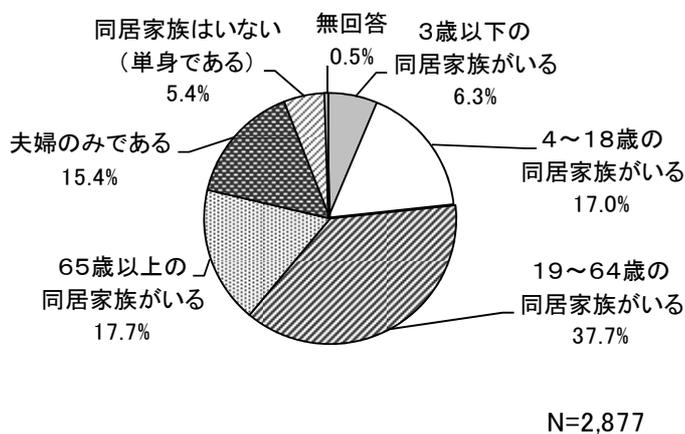
#### 問3 職業



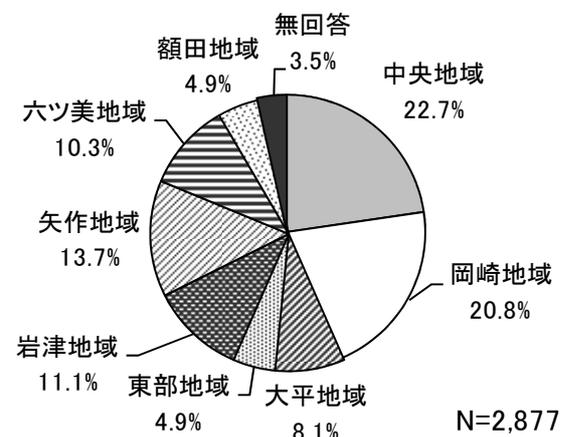
#### 問4 居住年数



#### 問5 家族構成



#### 問6 居住地域



## B 岡崎市のまちについて

### 問7 岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」との回答が47.7%と最も多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると85.6%の市民が岡崎市の生活に満足している。

平成18年度、平成20年度、平成23年度、平成25年度の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は平成18年度(80.2%)から平成20年度(84.0%)にかけて増加し、その後は平成23年度(83.2%)に一時的な減となるが、平成25年度(83.6%)は回復傾向となっており、さらに平成28年度(85.6%)では、これまででもっとも高い割合となっている。

一方、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた否定的意見は平成18年度(16.6%)、平成20年度(14.1%)、平成23年度(14.7%)、平成25年度(15.0%)、平成28年度(14.1%)と推移し、平成20年度以降微増傾向にあったが、平成28年度は低い割合となっている。

#### 問7

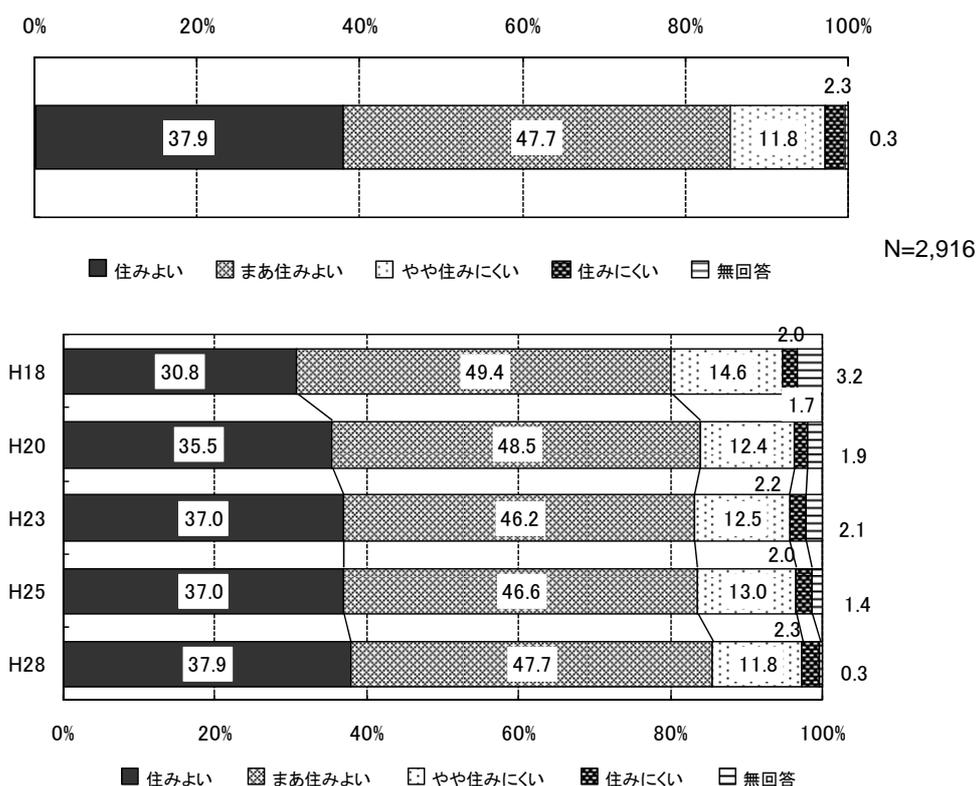
あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表1 岡崎市の住みやすさ

(単位:人、%)

	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2,877	1,089	1,373	339	65	11
割合	100.0	37.9	47.7	11.8	2.3	0.3

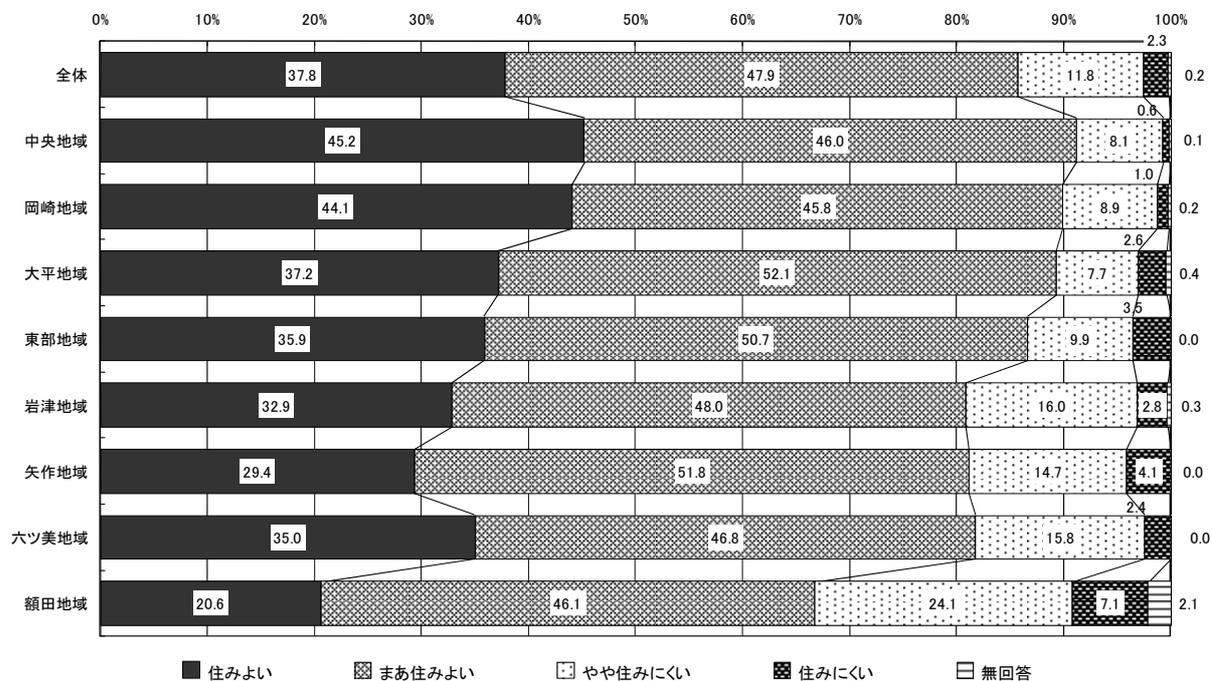
図1 岡崎市の住みやすさ (上段:単純、下段:経年変化)



### <地域別>

「住みよい」との回答割合が高いのは中央地域（45.2%）、岡崎地域（44.1%）で、「住みにくい」との回答割合が高いのは額田地域（7.1%）となっている。

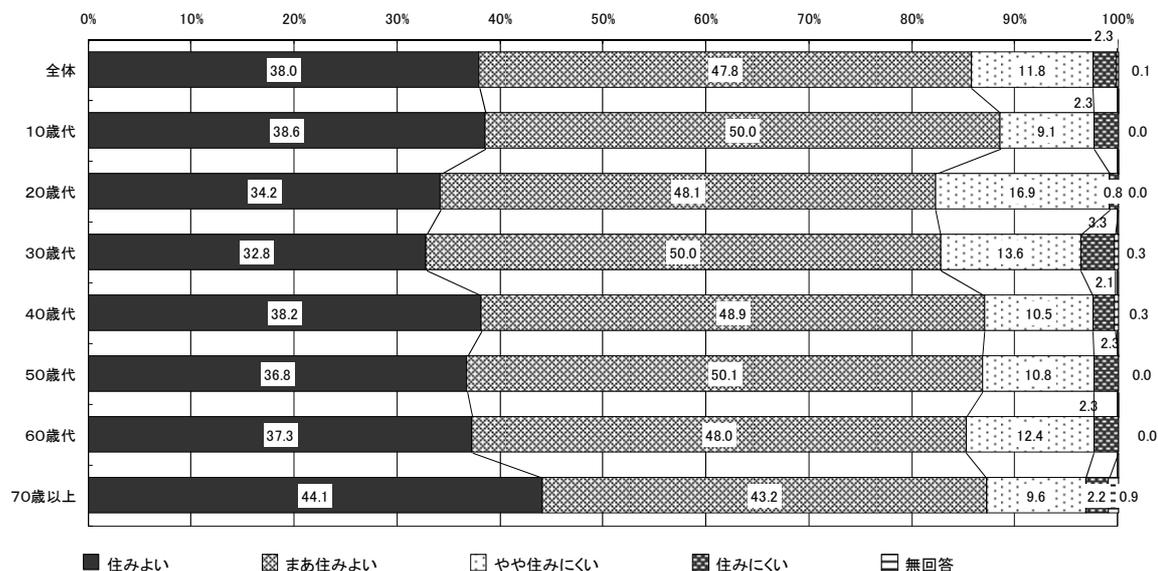
図1 a 岡崎市の住みやすさ（地域別）



### <年齢別>

「住みよい」との回答割合は、30歳代では32.8%であるのに対し、70歳以上では44.1%となっている。

図1 b 岡崎市の住みやすさ（年齢別）



## 問7-1 住みよいと思う理由

問7で「住みよい」「まあ住みよい」と答えた人に住みよいと思う理由をうかがったところ、「買い物便利である」との回答が54.7%ともっとも多く、次いで「交通の便がよい」との回答が多くなっている(40.3%)。

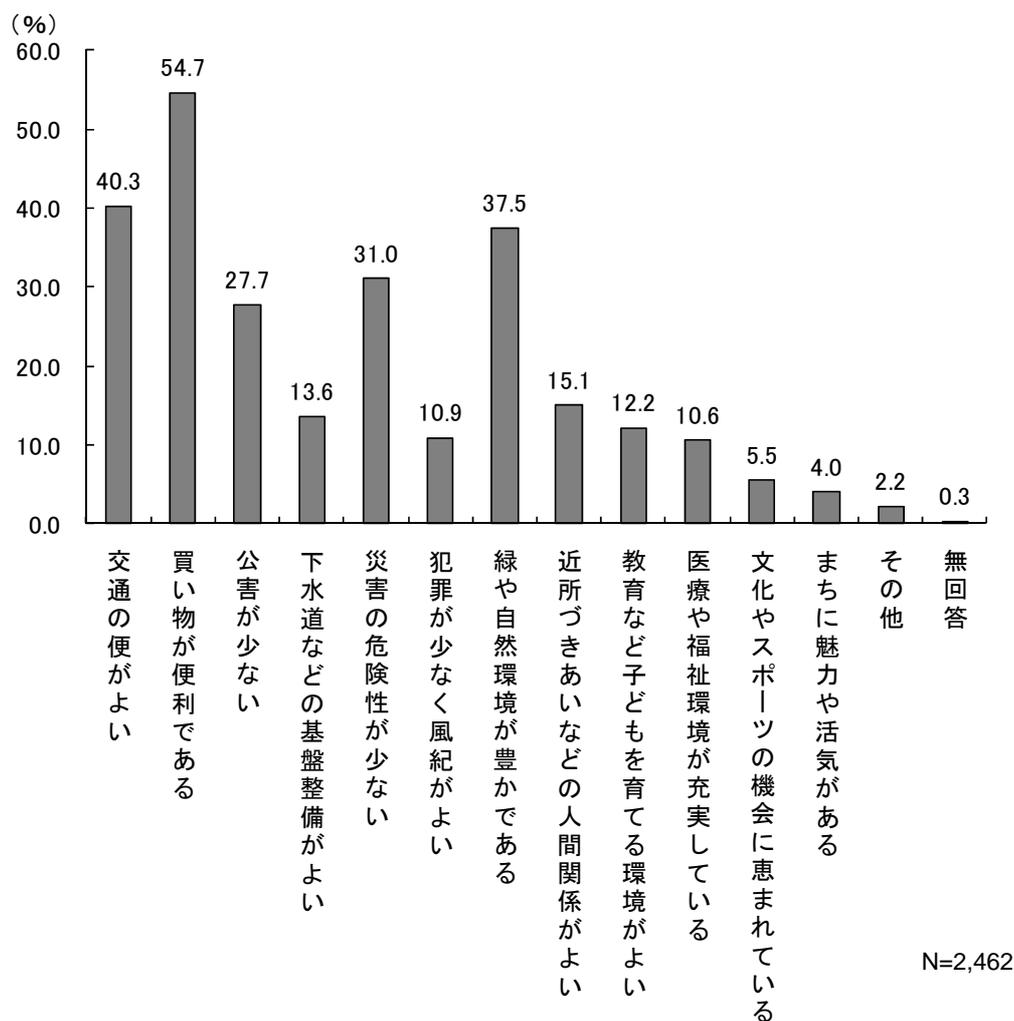
問7-1(問7で「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみ)

それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表1-1 住みよいと思う理由

	全体	交通の便がよい	買い物便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2,462	992	1,346	683	335	764	269	924	371	300	262	136	99	55	8
割合	100.0	40.3	54.7	27.7	13.6	31.0	10.9	37.5	15.1	12.2	10.6	5.5	4.0	2.2	0.3

図1-1 住みよいと思う理由



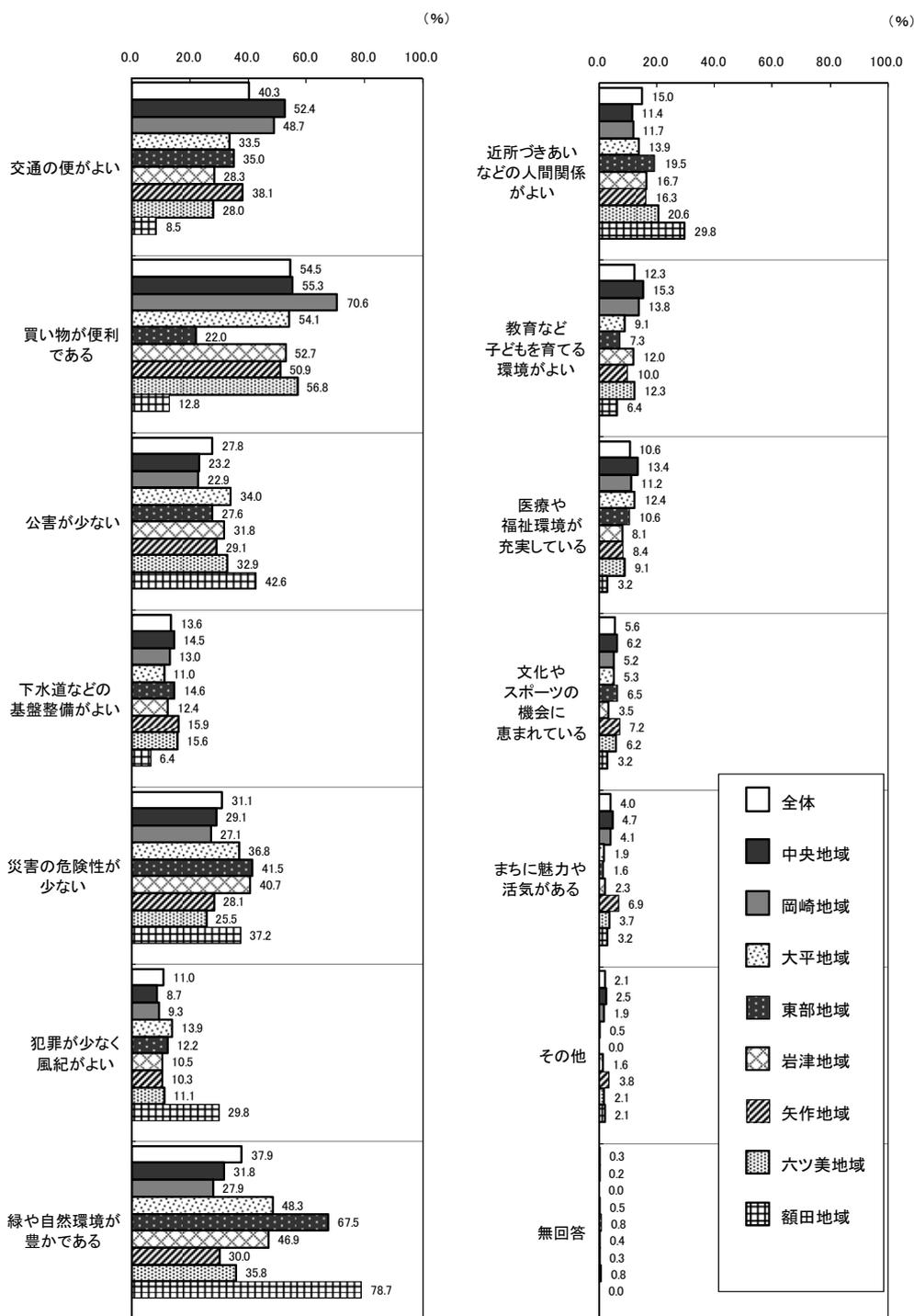
## <地域別>

全体でもっとも多かった「買い物が便利である」(54.7%)との回答は岡崎地域で多く、70.6%となっている。一方、額田地域、東部地域においては、それぞれ12.8%、22.0%と低くなっている。

全体で次に多かった「交通の便がよい」(40.3%)との回答は中央地域で多く、52.4%となっている。一方、額田地域においては8.5%と特に低くなっている。

三番目に多かった「緑や自然環境が豊かである」との回答は、全体では37.5%であるのに対し、額田地域では78.7%、東部地域で67.5%と特に多くなっている。

図1-1a 住みよいと思う理由(地域別)



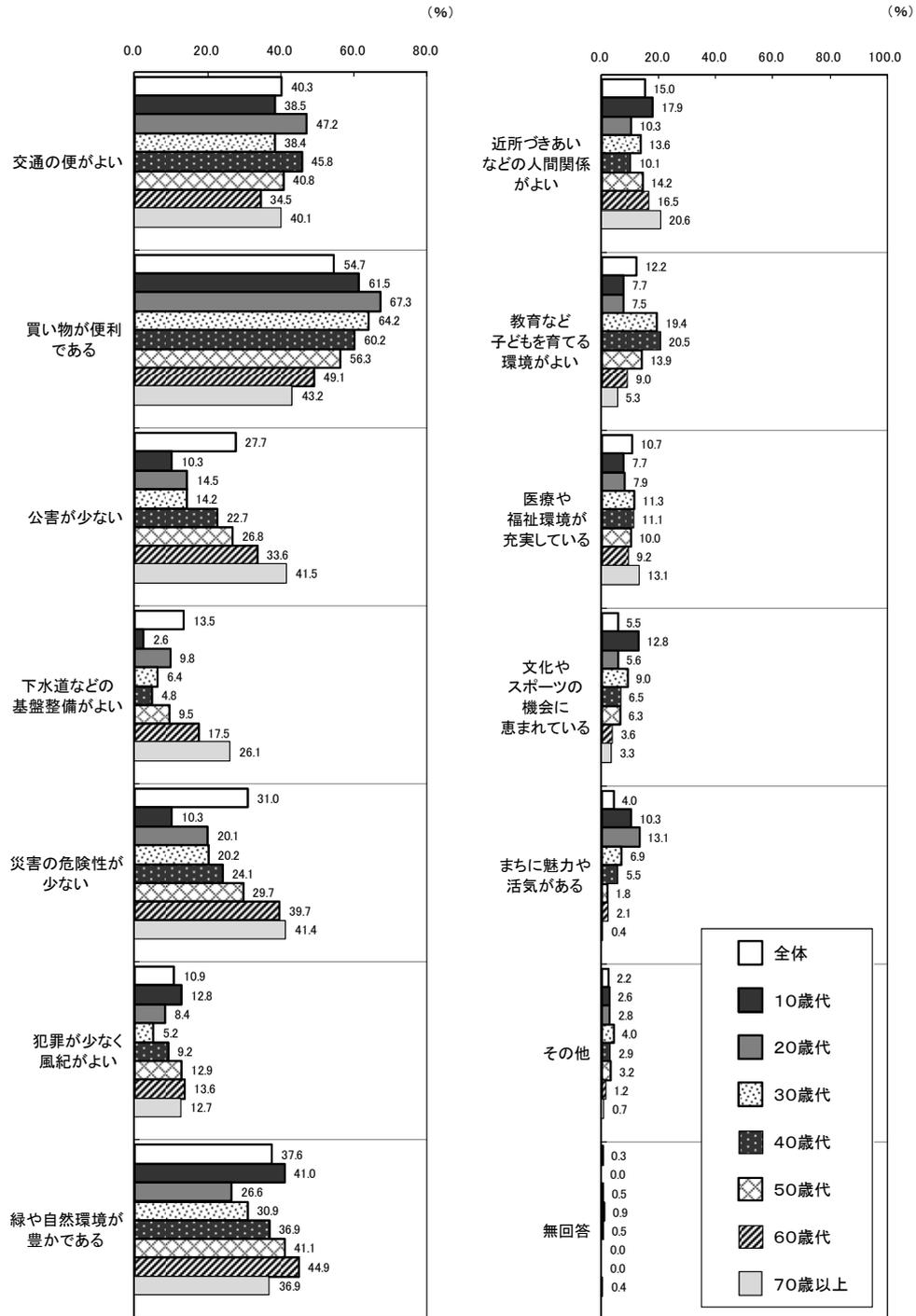
<年齢別>

全体でもっとも多かった「買い物が便利である」との回答は、10歳代～40歳代で多く、それぞれ6割を超えている。

また、全体で次に多かった「交通の便がよい」との回答は、年代による大きな差は見られないが、20歳代で多く、47.2%となっている。

一方、「災害の危険性が少ない」との回答は年齢が高くなるほど多くなる傾向があり、60歳代で39.7%、70歳以上で41.4%となっている。

図1-1b 住みよいと思う理由（年齢別）



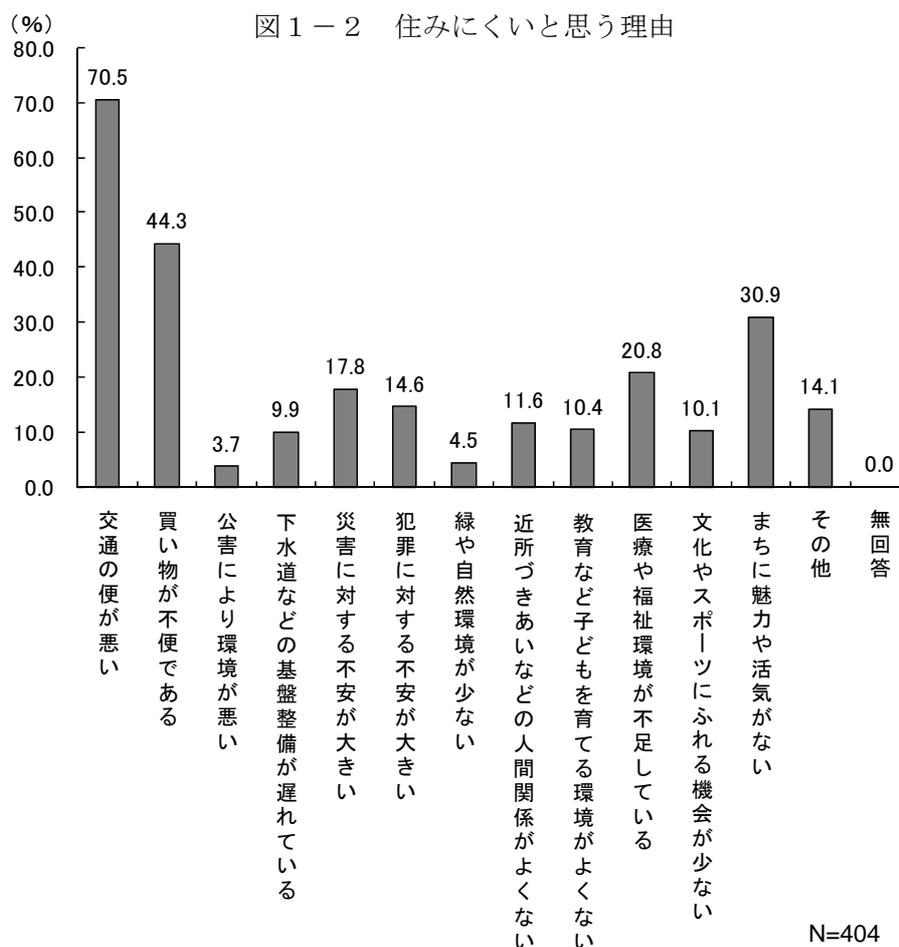
## 問7-2 住みにくいと思う理由

問7で「やや住みにくい」、「住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」との回答が70.5%となっており、他の理由と大きく差が開いている。次に多い理由は「買い物に不便である」となっている(44.3%)。問7-1住みよと思う理由では、「交通の便がよい」、「買い物が便利である」との回答がそれぞれ2番目、1番目に位置していることから、岡崎市における住みやすさ及び住みにくさは、交通及び買い物の便に起因すると考えられる。

問7-2(問7で「やや住みにくい」、「住みにくい」と回答した方のみ)  
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表1-2 住みにくいと思う理由

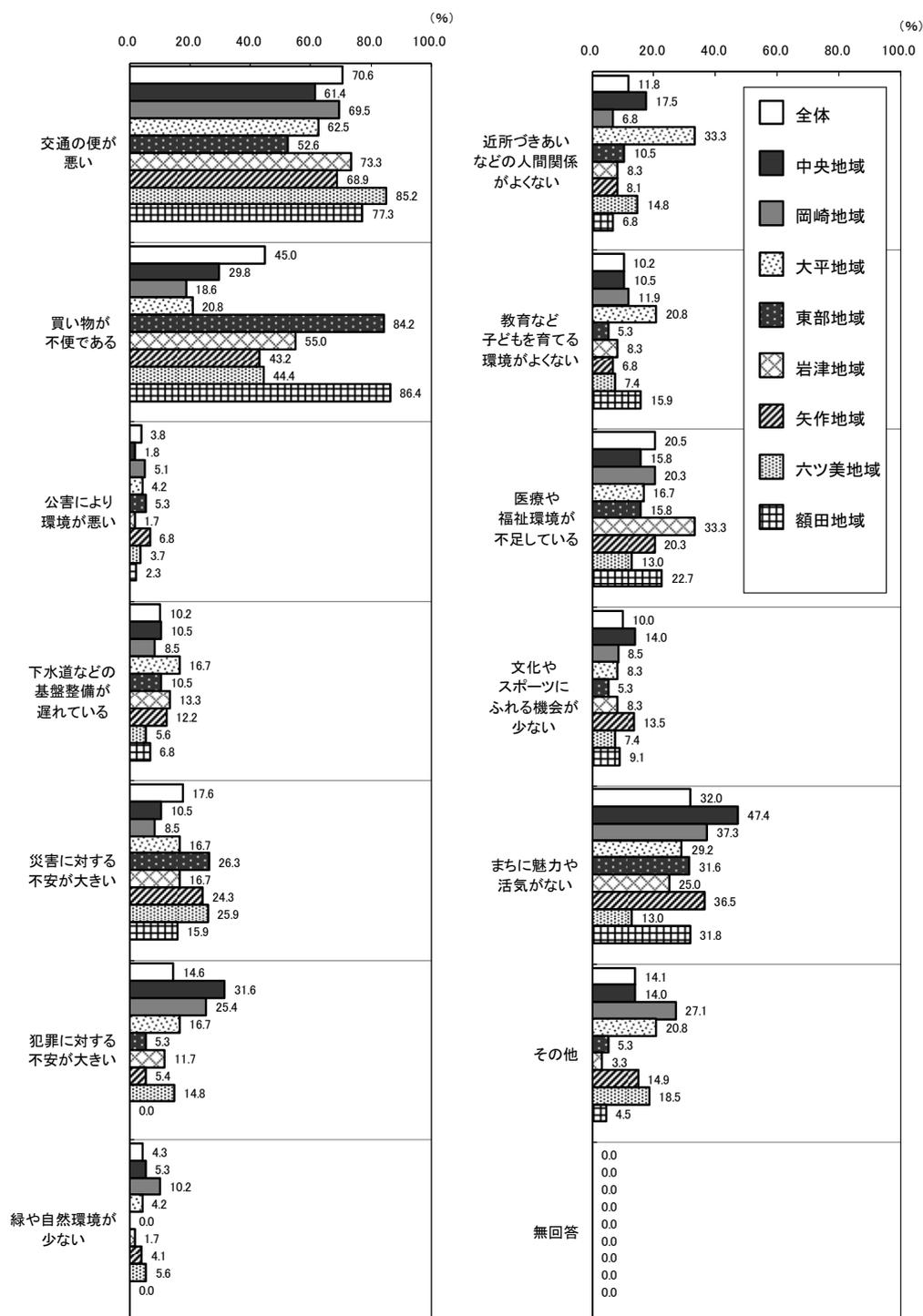
	全体	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちな魅力や活気がない	その他	無回答
回答者数	404	285	179	15	40	72	59	18	47	42	84	41	125	57	0
割合	100.0	70.5	44.3	3.7	9.9	17.8	14.6	4.5	11.6	10.4	20.8	10.1	30.9	14.1	0.0



## <地域別>

「交通の便が悪い」との回答が多かったのは六ツ美地域（85.2%）、額田地域（77.3%）である。「買い物物が不便である」との回答では、額田地域（86.4%）、東部地域（84.2%）で特に多くなっている。三番目に多かった「まちに魅力や活気がない」との回答では、中央地域（47.4%）、岡崎地域（37.3%）で多くなっている。

図1-2a 住みにくいと思う理由（地域別）

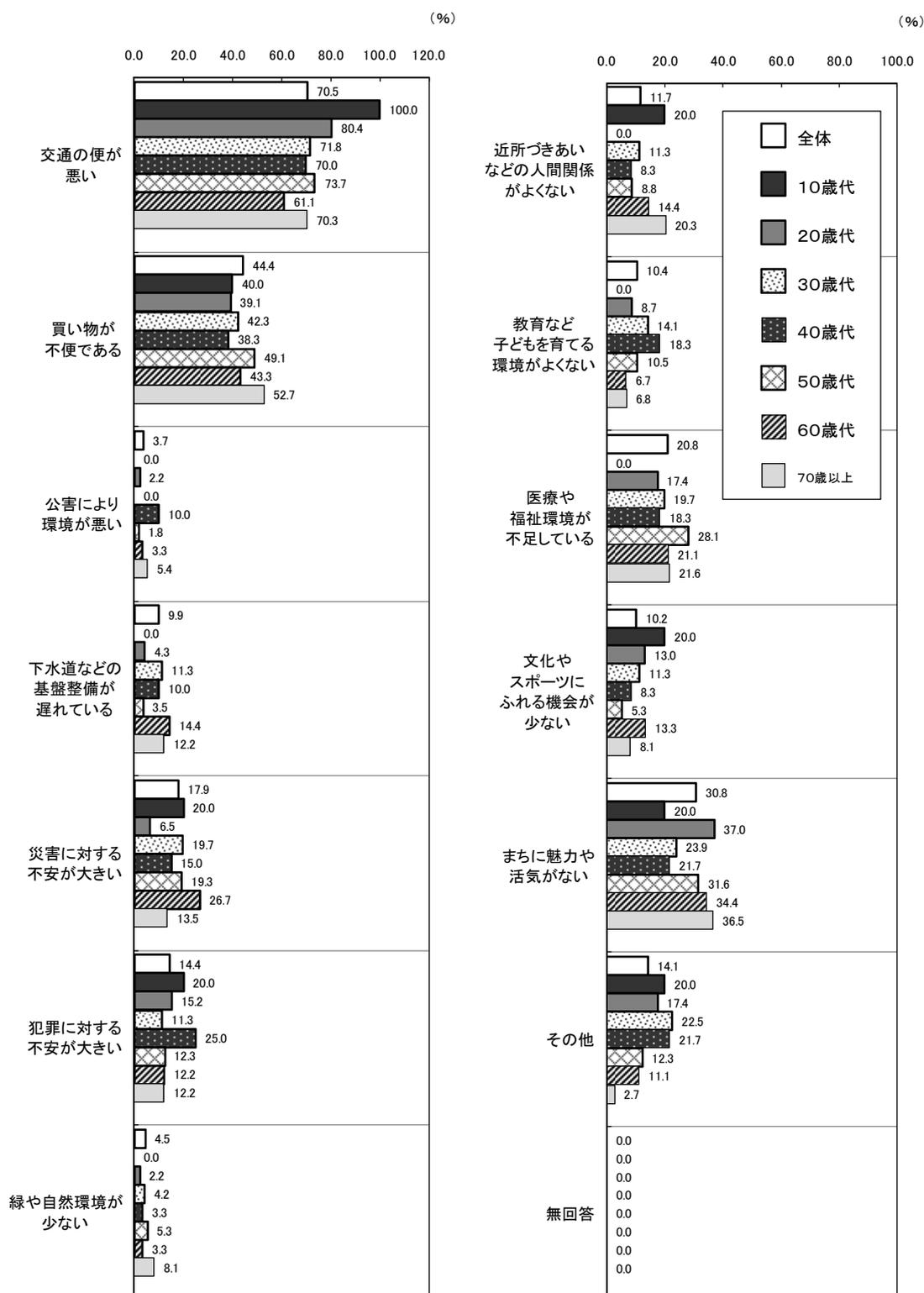


## <年齢別>

「交通の便が悪い」との回答が多かったのは10歳代と20歳代で、8割を超えているほか、他の年齢でも6割を超えている。

70歳以上では「買い物が不便である」との回答が5割を超えて（52.7%）いる。50歳代では「医療や福祉環境が不足している」の回答割合が高く、30歳代、40歳代では「教育など子どもを育てる環境がよくない」の回答割合がやや高くなっている。

図1-2b 住みにくいと思う理由（年齢別）



問8 居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が60.1%と多く、「しばらくは住むつもりだ」(24.4%)、「市内の他の地域に移りたい」(1.9%)を含めて、8割半ばの市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。

平成18年度、平成20年度、平成23年度、平成25年度の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は平成18年度(84.3%)、平成20年度(84.4%)、平成23年度(83.4%)、平成25年度(83.4%)、平成28年度(84.5%)とほぼ一定であり、8割を超えているが、平成28年度(84.5%)はもっとも高くなっている。

また、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見も平成18年度(2.2%)、平成20年度(2.3%)、平成23年度(2.1%)、平成25年度(2.0%)、平成28年度(2.4%)とほぼ一定である。

問8

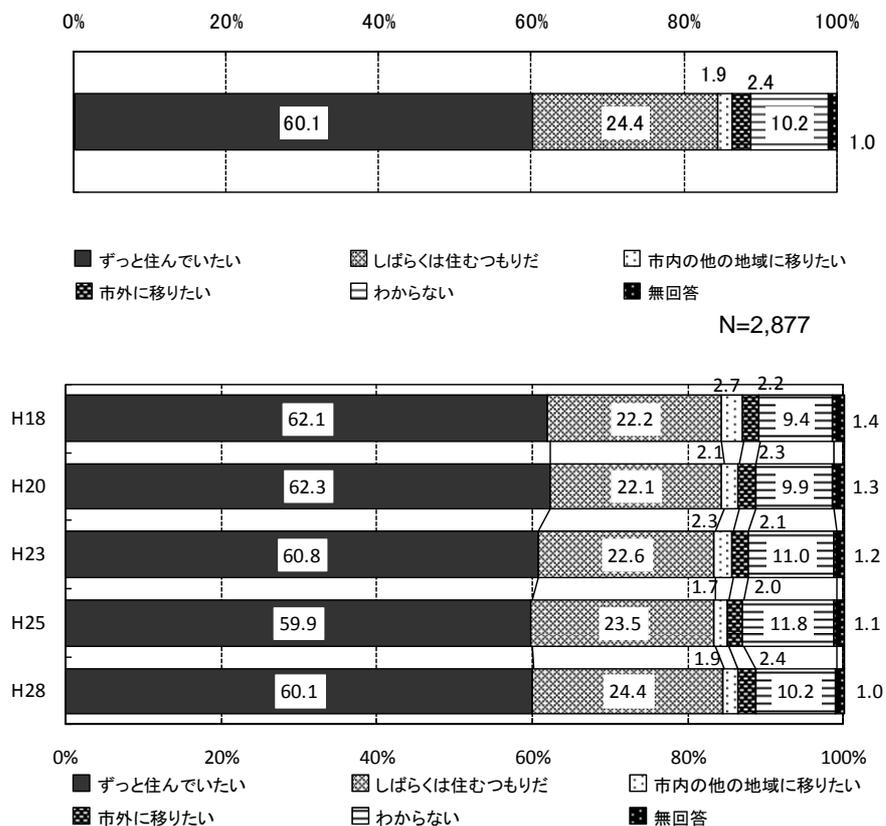
あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表2 居住継続意向

(単位:人、%)

	全体	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもりだ	市内の他の地域に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
回答者数	2,877	1,730	702	54	68	294	29
割合	100.0	60.1	24.4	1.9	2.4	10.2	1.0

図2 居住継続意向 (上段:単純、下段:経年変化)

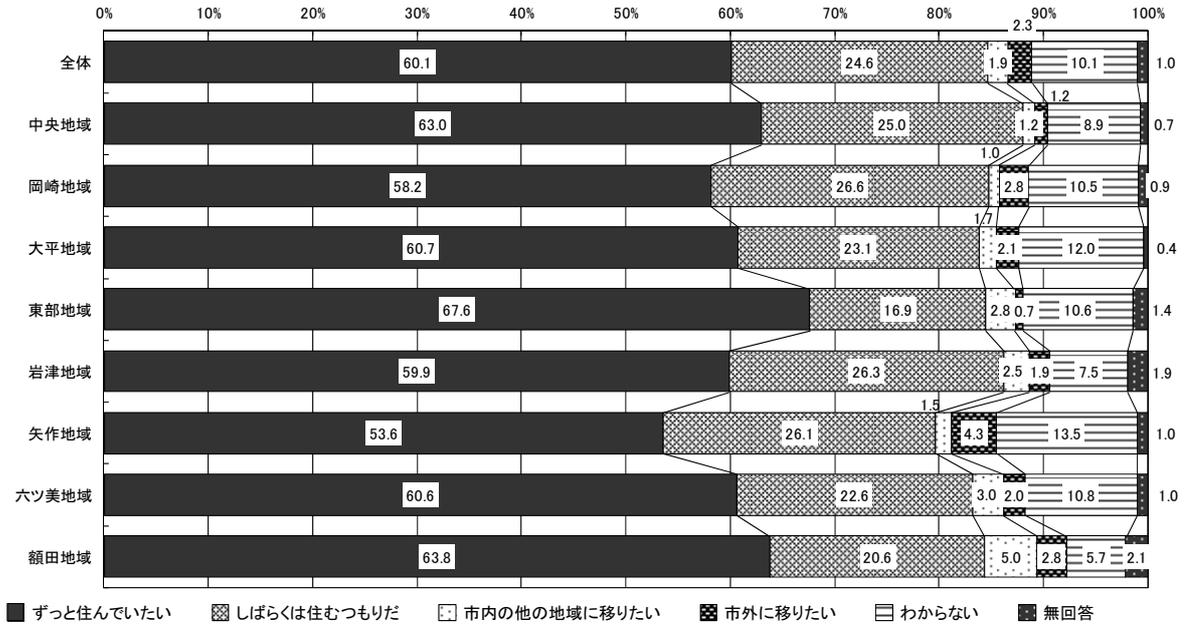


### <地域別>

「ずっと住んでいたい」との回答割合が高いのは、東部地域（67.6%）、次いで額田地域（63.8%）、中央地域（63.0%）となっている。

一方で、「市外に移りたい」との回答割合が他地域と比して若干高かったのは、矢作地域（4.3%）、岡崎地域（2.8%）、額田地域（2.8%）となっている。

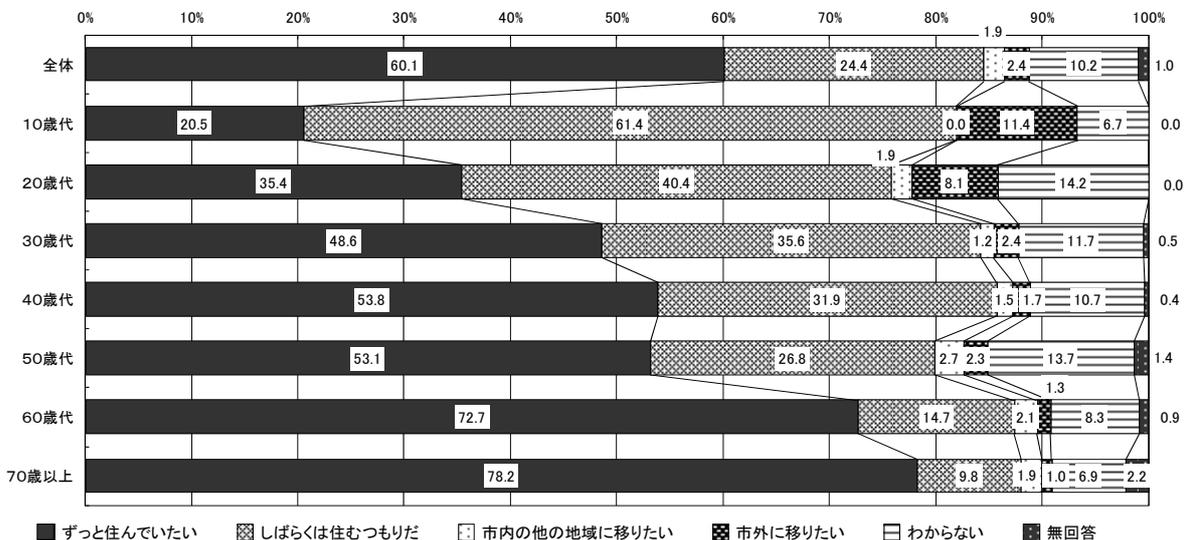
図 2 a 居住継続意向（地域別）



### <年齢別>

「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっており、10歳代では20.5%であるのに対し、70歳以上では78.2%となっており、10歳代の約4倍となっている。一方、「市外に移りたい」との回答割合は10歳代で11.4%、20歳代で8.1%と、他の年齢と比べて高くなっている。

図 2 b 居住継続意向（年齢別）



## 問9 市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が 54.3%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて 63.5%の市民が市政に関心を寄せている。

平成 18 年度、平成 20 年度、平成 23 年度、平成 25 年度の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は、平成 18 年度（65.6%）、平成 20 年度（69.2%）、平成 23 年度（66.1%）、平成 25 年度（62.2%）、平成 28 年度（63.5%）と、平成 20 年度以降減少傾向にあったが、平成 28 年度でやや増加している。

一方で「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は、平成 18 年度（31.5%）から平成 20 年度（28.4%）にかけて減少した後、平成 23 年度（31.9%）、平成 25 年度（36.5%）と増加傾向にあったが、平成 28 年度（35.6%）でやや減少している。

市政への市民の関心は、平成 20 年度以降は減少傾向にあったが、平成 25 年度以降、高まりつつあることがうかがえる。

### 問9

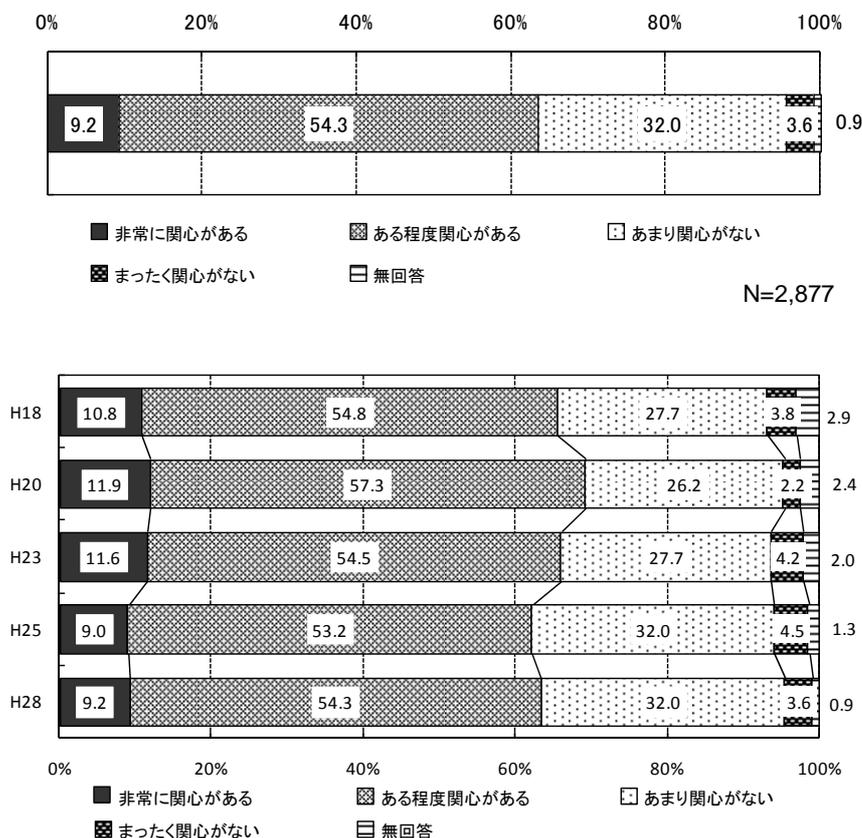
あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3 市政関心度

(単位:人、%)

	全体	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
回答者数	2,877	266	1,563	921	104	23
割合	100.0	9.2	54.3	32.0	3.6	0.9

図3 市政関心度（上段：単純、下段：経年変化）

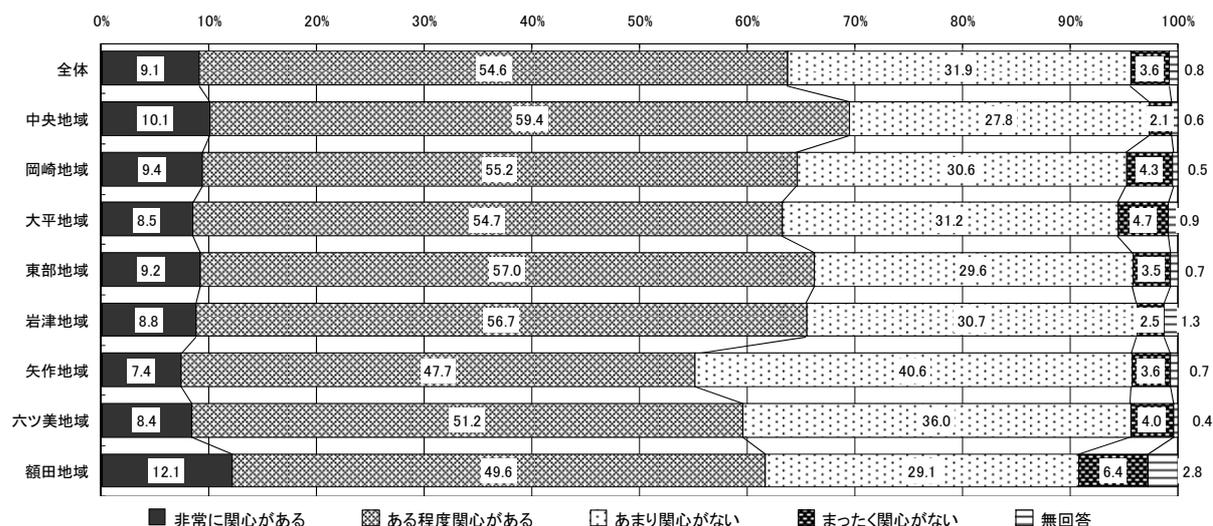


### <地域別>

「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」との回答を合わせると、中央地域（69.5%）、東部地域（66.2%）、岩津地域（65.5%）の順で多くなっている。なお、額田地域では「非常に関心がある」との回答が12.1%ともっとも多くなっている。

一方で、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」との回答を合わせると、矢作地域（44.2%）、六ツ美地域（40.0%）の順で高くなっている。「まったく関心がない」との回答は、額田地域（6.4%）、大平地域（4.7%）、岡崎地域（4.3%）で多くなっている。

図 3 a 市政関心度（地域別）

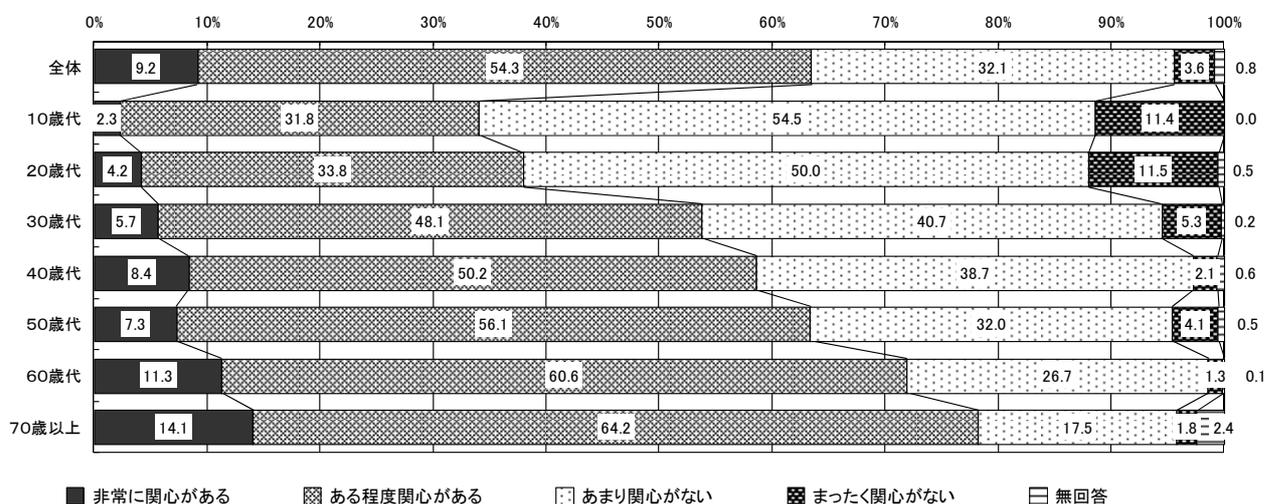


### <年齢別>

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」との回答は、年齢が高くなるにつれて多くなっている。10歳代では34.1%であるが、30歳代から50歳代は5割から6割、60歳代と70歳以上は7割以上となっている。また、60歳代、70歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答の割合が、11.3%、14.1%と高い値を示している。

一方、「まったく関心がない」との回答は20歳代で11.5%、10歳代で11.4%と特に多くなっている。若年層に対して市政に関心を持ってもらうための取組が課題といえる。

図 3 b 市政関心度（年齢別）



### 問9-1 市政に関心がある理由

問9で、市政に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」(48.4%)との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」(37.4%)との回答が大半を占めている。

経年変化をみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」は、平成18年度(44.7%)、平成20年度(48.8%)、平成23年度(48.3%)、平成25年度(51.7%)と、概ね増加傾向にあるものの、平成28年度(48.4%)は減少している。一方、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」は平成18年度(40.6%)、平成20年度(38.8%)、平成23年度(36.2%)、平成25年度(35.4%)と減少傾向にあったが、平成28年度(37.4%)は増加している。

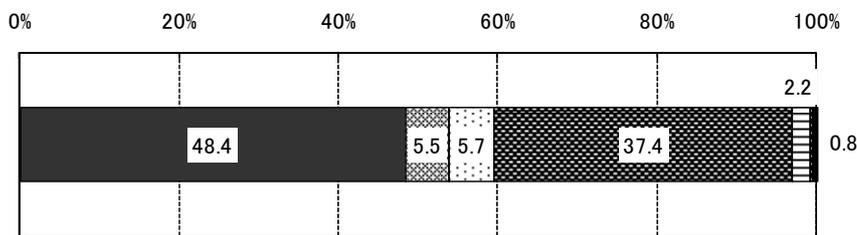
問9-1(問9で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方のみ)  
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3-1 市政に関心がある理由

(単位:人、%)

	全体	自分の暮らし向きに直接関係がある	市政が身近なものになってきた	市政に興味がある	自分の住む岡崎市をもっとよくしたい	その他	無回答
回答者数	1,829	886	101	104	684	41	13
割合	100.0	48.4	5.5	5.7	37.4	2.2	0.8

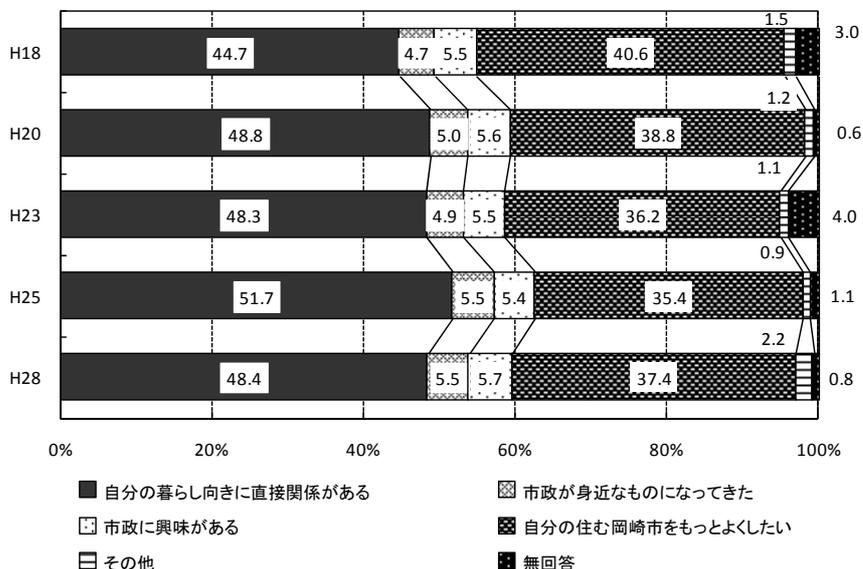
図3-1 市政に関心がある理由 (上段:単純、下段:経年変化)



自分の暮らし向きに直接関係がある
  市政が身近なものになってきた
  市政に興味がある
  無回答

自分の住む岡崎市をもっとよくしたい
  その他

N=1,829

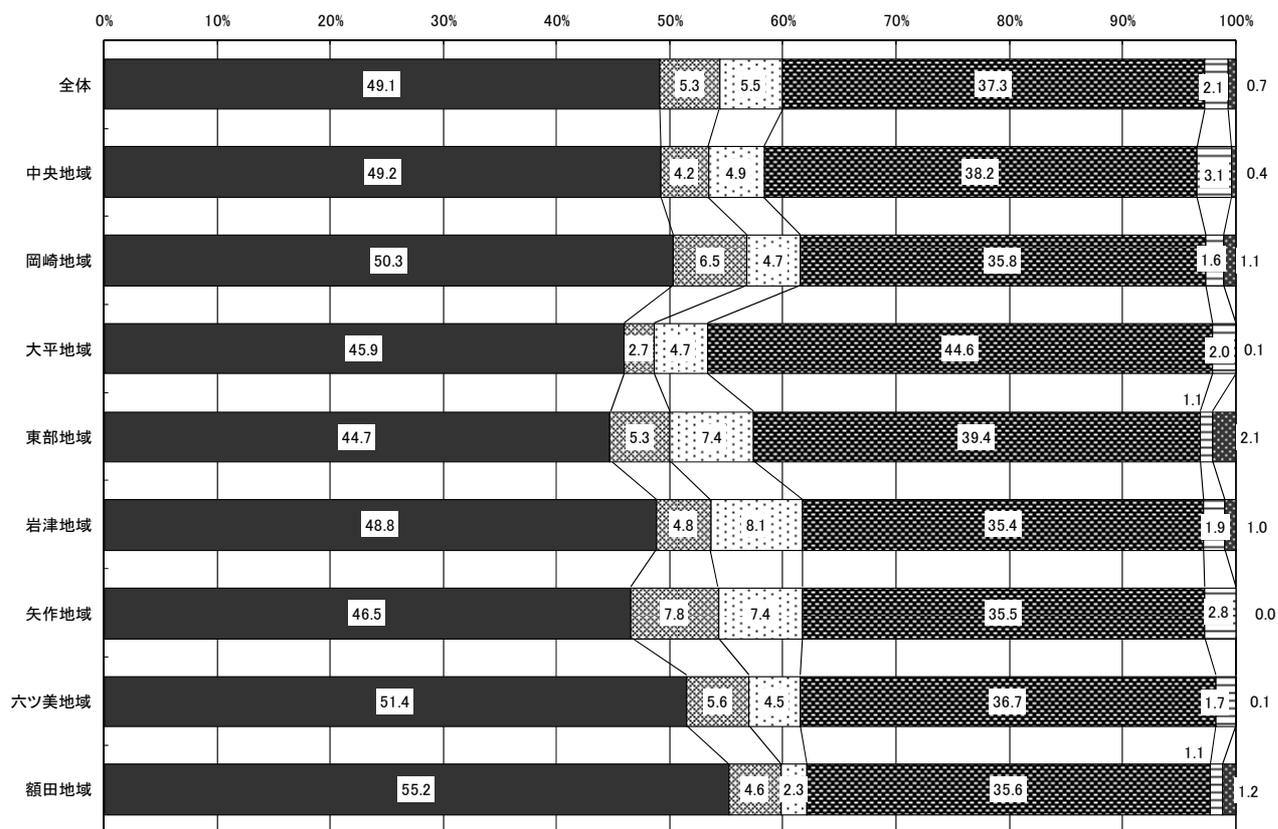


<地域別>

「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が多かったのは、順に額田地域（55.2%）、六ツ美地域（51.4%）、岡崎地域（50.3%）となっている。また、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答が多かったのは大平地域（44.6%）、東部地域（39.4%）、中央地域（38.2%）である。

「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答は、額田地域（55.2%）がもっとも多く、東部地域（44.7%）がもっとも低くなっている。また、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答は、大平地域（44.6%）がもっとも多く、岩津地域（35.4%）がもっとも低くなっている。

図3-1a 市政に関心がある理由（地域別）



■ 自分の暮らし向きに直接関係がある ■ 市政が身近なものになってきた □ 市政に興味がある ■ 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい □ その他 ■ 無回答

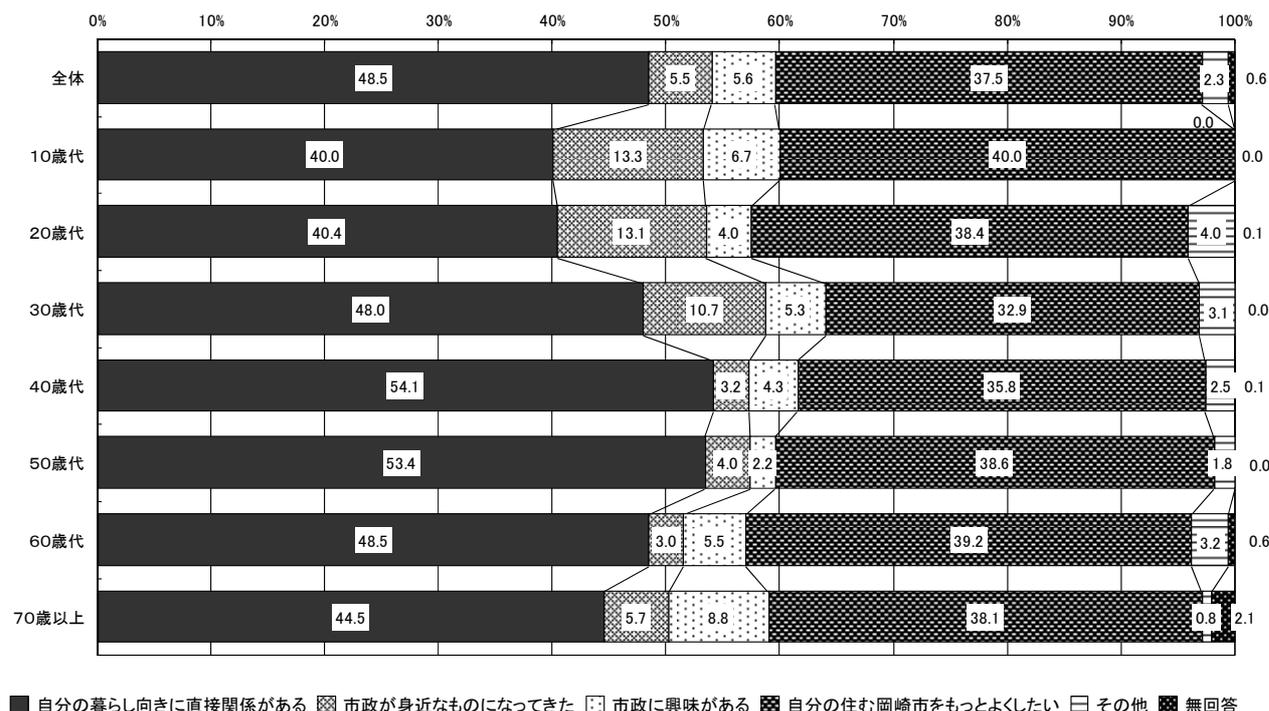
<年齢別>

40歳代から50歳代にかけては、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が50%を超えており、50歳代以上は加齢とともに減少している。

「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答は10歳代、20歳代と、50歳代以上で多く、4割近くである。

また、「市政が身近なものになってきた」、「市政に興味がある」との回答は、10歳代から30歳代で高く、1割を超えているが、40歳代～60歳代では低くなっている。

図3-1b 市政に関心がある理由（年齢別）



## 問9-2 市政に関心がない理由

問9で、市政に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人に、市政に関心がない理由についてうかがったところ、「市政が身近なものでない」との回答が58.2%ともっとも多くなっており、他の選択肢に大差をつけている。次いで「市政に興味がない」(20.5%)、「自分の暮らし向きに直接関係がない」(17.1%)が多くなっている。

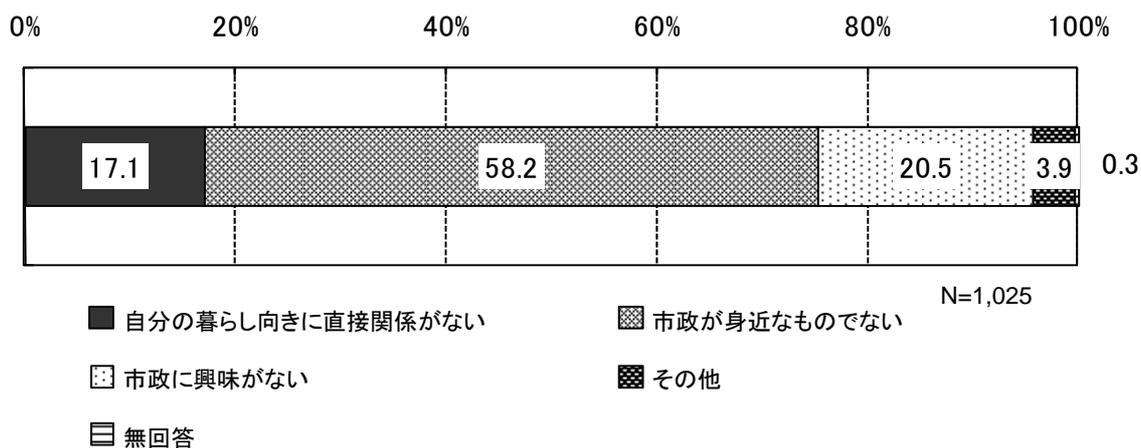
問9-2(問9で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ)  
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3-2 市政に関心がない理由

(単位:人、%)

	全体	自分の暮らし向きに直接関係がない	市政が身近なものでない	市政に興味がない	その他	無回答
回答者数	1,025	175	597	210	40	3
割合	100.0	17.1	58.2	20.5	3.9	0.3

図3-2 市政に関心がない理由



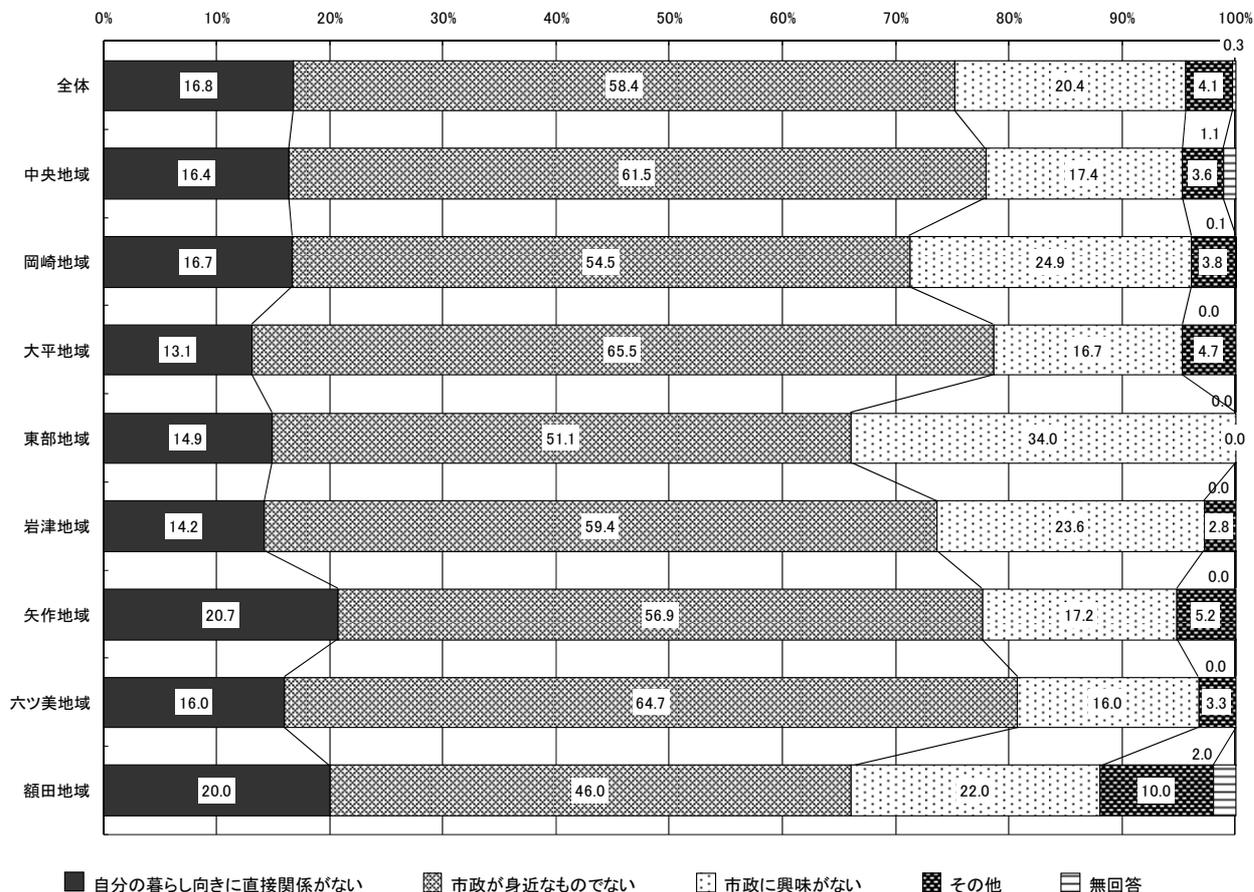
<地域別>

「市政が身近なものでない」が特に多かったのは大平地域（65.5%）、六ツ美地域（64.7%）、中央地域（61.5%）であり、6割を超えている。

「自分の暮らし向きに直接関係がない」は、矢作地域（20.7%）、額田地域（20.0）で比較的多い。

「市政に興味がない」は、東部地域（34.0%）で特に多く、3割を超えている。

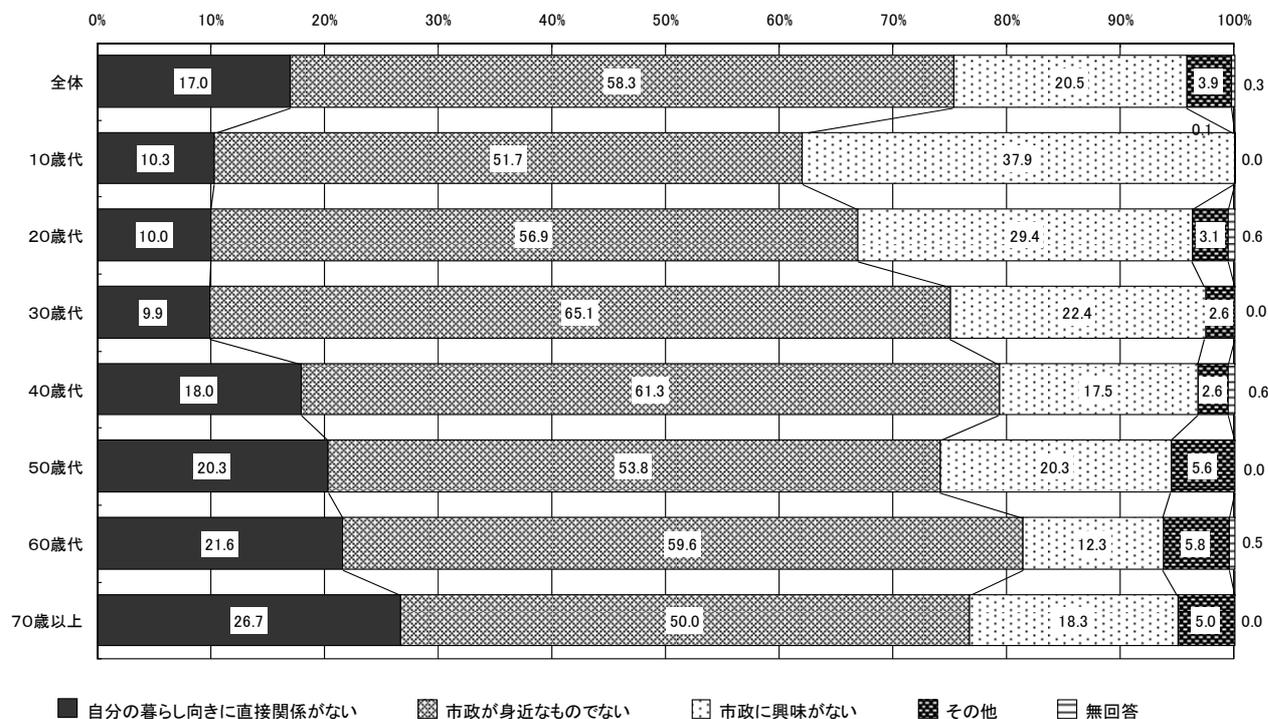
図3-2a 市政に関心がない理由（地域別）



### <年齢別>

「市政が身近なものでない」は、いずれの年代でももっとも多く、5割から6割を占めている。「自分の暮らし向きに直接関係がない」は、10歳代から30歳代では1割程度だが、年代が上がるにつれて割合が多くなっている。その一方、「市政に興味がない」は、10歳代から20歳代では3割から4割程度を占めているが、30歳代以上では2割程度かそれ以下になっている。

図3-2b 市政に関心がない理由（年齢別）



問9-3 市政に関心を持ってもらう施策

問9で、市政に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人に、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が32.0%ともっとも多くなっている。次いで「わからない」(24.1%)、「市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める」(19.5%)が多くなっている。

平成18年度以降から、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」は、もっとも多い回答となっている。

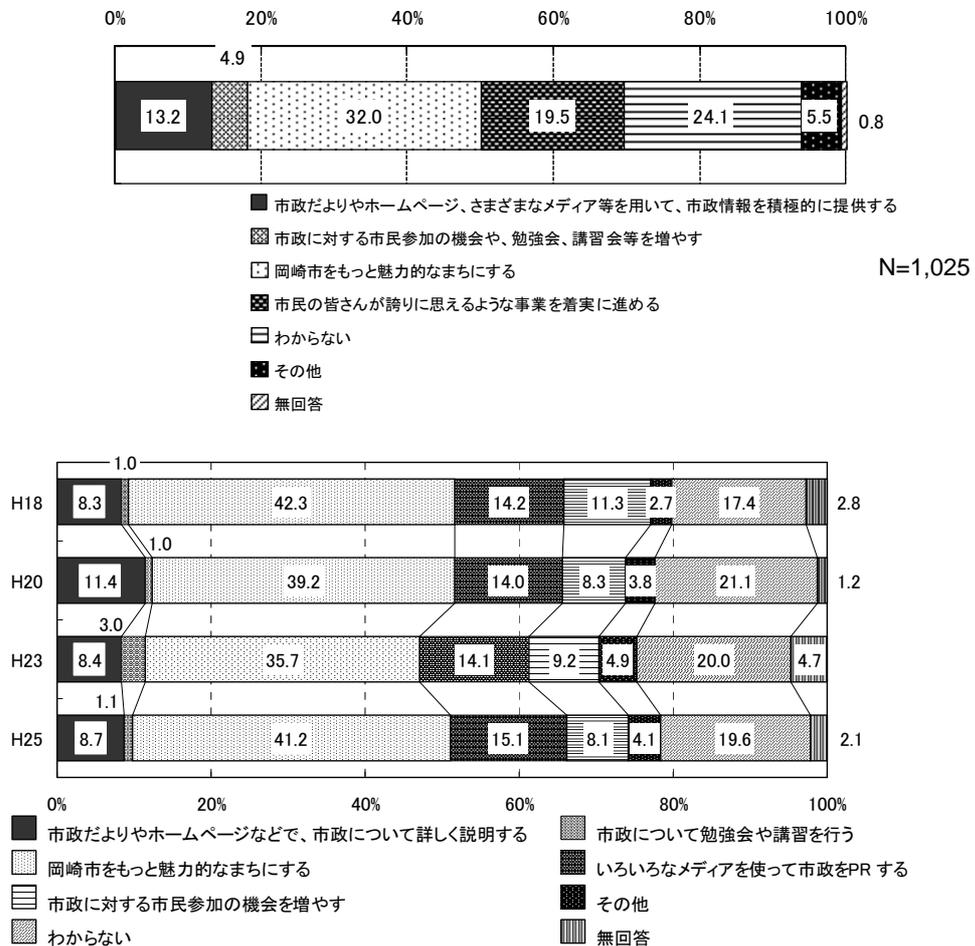
問9-2(問9で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ)  
 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3-3 市政に関心を持ってもらう施策

(単位:人、%)

	全体	市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する	市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める	わからない	その他	無回答
回答者数	1,025	135	50	328	200	247	56	9
割合	100.0	13.2	4.9	32.0	19.5	24.1	5.5	0.8

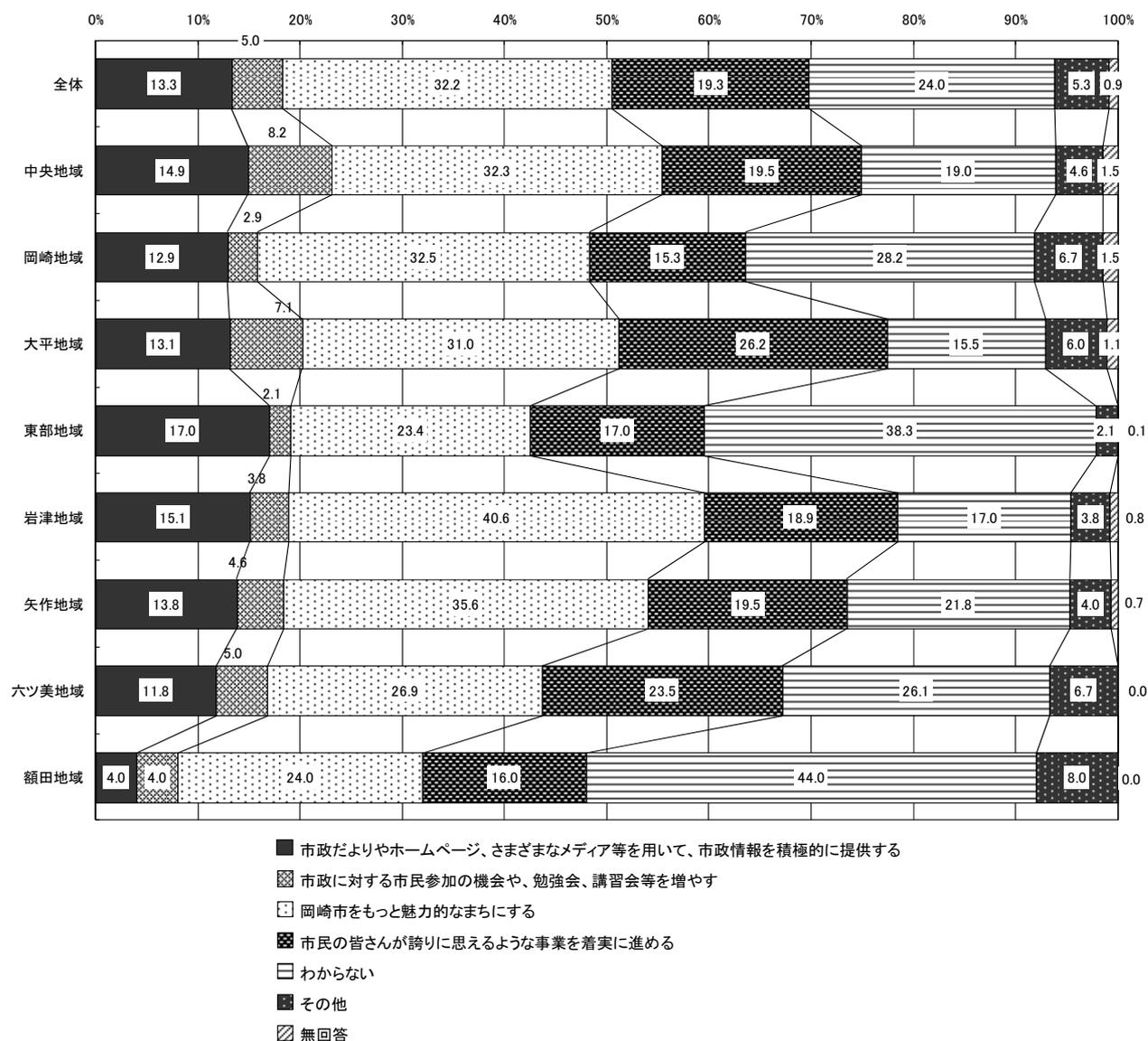
図3-3 市政に関心を持ってもらう施策 (上段:単純、下段:平成18~25年の経年変化)



## <地域別>

「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が多かったのは岩津地域（40.6%）、矢作地域（35.6%）であり、全体で次に回答が多かった「わからない」が多かったのは額田地域（44.0%）、東部地域（38.3%）である。この2地域では、「わからない」が「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」を上回っている。「市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める」は、大平地域（26.2%）、六ツ美地域（23.5%）、中央地域（19.5%）、矢作地域（19.5%）で多くなっている。

図3-3a 市政に関心を持ってもらう施策（地域別）



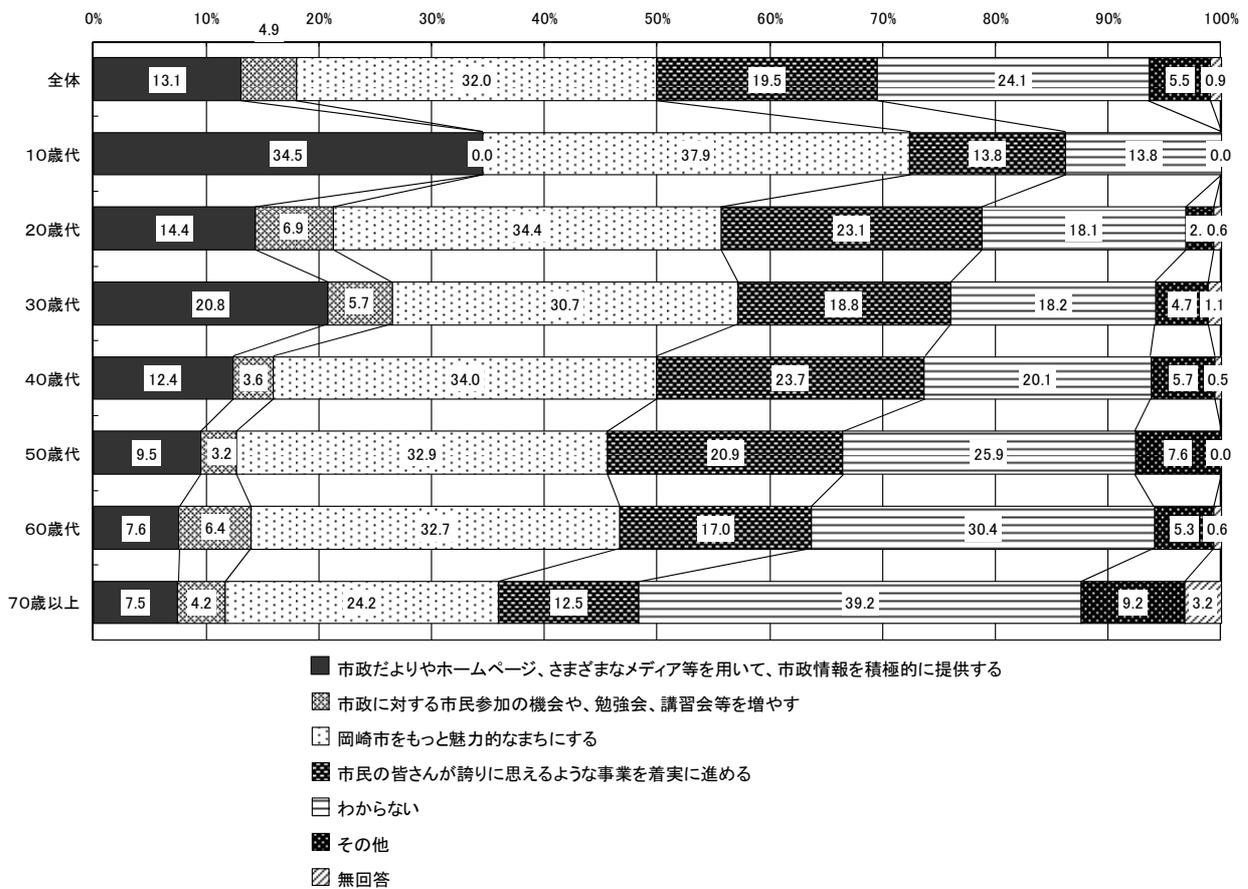
### <年齢別>

10歳代から60歳代にかけて、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答がもっとも多くなっている。「市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する」との回答は10歳代で34.5%と他の年齢と比して多くなっており、年代が上がるにつれて少なくなっている。

「市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める」は、20歳代から40歳代では、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」に次いで多くなっている。

また、「わからない」は、年代が上がるにつれて多くなっており、70歳以上では、4割近くを占めている。

図3-3b 市政に関心を持ってもらう施策（年齢別）



C 公共施設について

問 10 過去5年間の施設利用状況

過去5年間の市の施設利用についてうかがったところ、「ある程度利用している」との回答がもっとも多く36.2%であり、「よく利用している」を合わせると市民の約5割が市の施設を利用している。

平成25年度と比較すると、「ある程度利用している」が43.8%から36.2%に減少している。「よく利用している」、「ある程度利用している」の合計でも、平成25年度の58.0%から、平成28年度の51.6%に減少している。

問 10

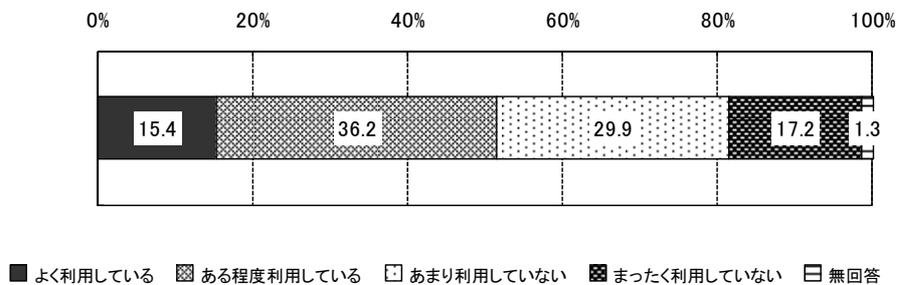
過去5年間で市の施設を利用したことがありますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 4 過去5年間の施設利用状況

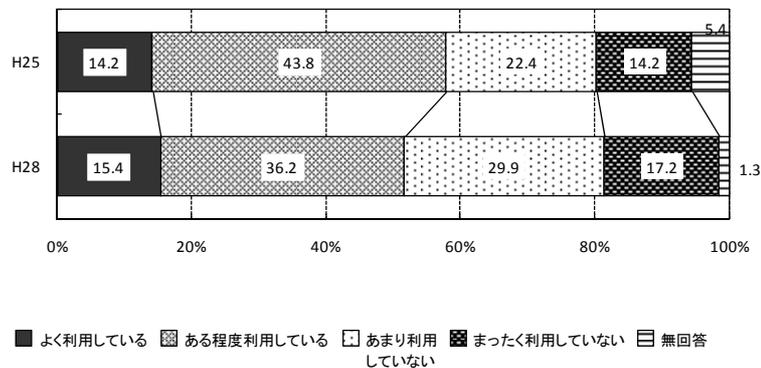
(単位:人、%)

	全体	よく利用している	ある程度利用している	あまり利用していない	まったく利用していない	無回答
回答者数	2,877	444	1,041	859	495	38
割合	100.0	15.4	36.2	29.9	17.2	1.3

図 4 過去5年間の施設利用状況 (上段:単純、下段:経年変化)



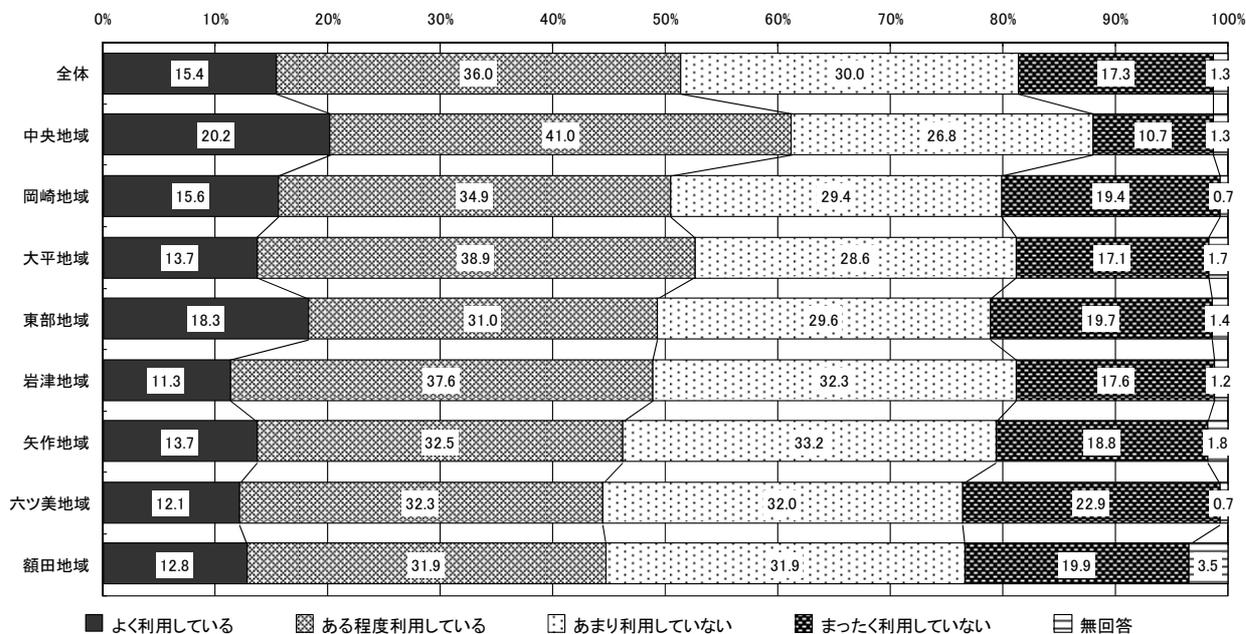
N=2,877



<地域別>

「よく利用している」、「ある程度利用している」との回答が特に多いのは中央地域（61.2%）である。六ツ美地域や額田地域では、「よく利用している」、「ある程度利用している」の合計では、他の地域に比べるとやや少なくなっている。

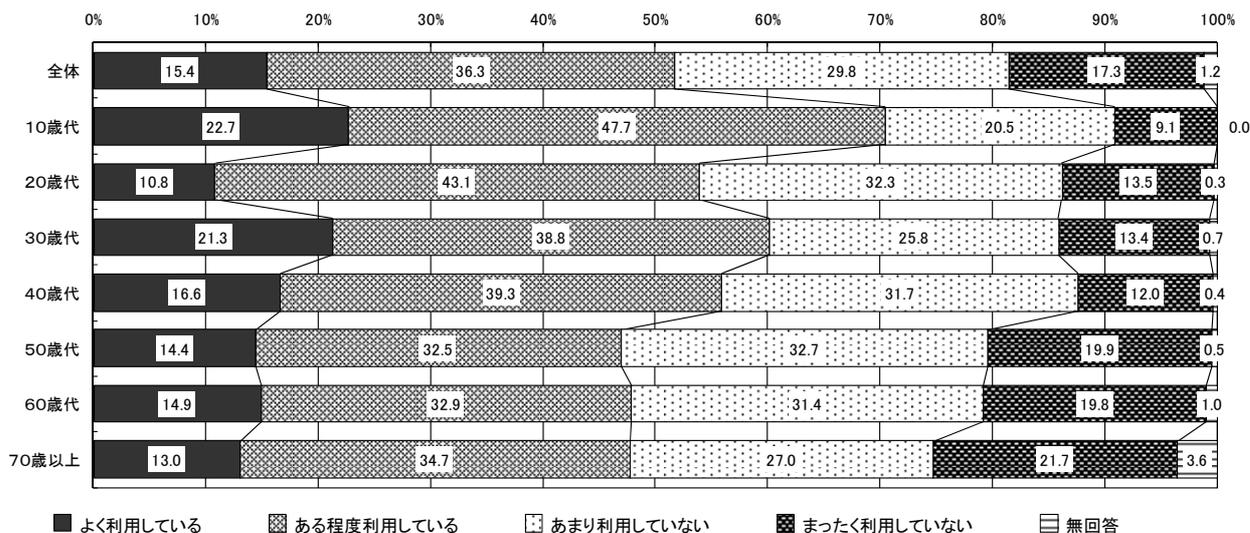
図4a 過去5年間の施設利用状況（地域別）



<年齢別>

10歳代が「よく利用している」、「ある程度利用している」ともに他の年代より多く、年代が上がるにつれて、「よく利用している」、「ある程度利用している」との回答が少なくなる傾向がみられる。

図4b 過去5年間の施設利用状況（年齢別）



## 問 11 公共施設の移転場所についての考え方

公共施設の移転場所についての考え方についてうかがったところ、「公共交通機関が充実した、地域の中心地であること」(36.0%)、「駐車場が十分確保できる郊外であること」(35.6%)がほぼ同じような割合となった。

### 問 11

全国で高度経済成長期に集中して建設された公共施設は、老朽化が進行し一斉に更新時期を迎えています。なかでも岡崎市の公共施設に関する特徴は以下のとおりです。

このような状況への対策としては、施設の長寿命化や複合化※が有効とされており、「市民センターと地域交流センター」などを複合化する検討が進められています。複合化は、施設サービス水準を落とさずに経費を節減するなどの効果が期待できますが、場合によっては施設移転が生じることもあります。

移転場所の選定にあたり何を重視するか、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

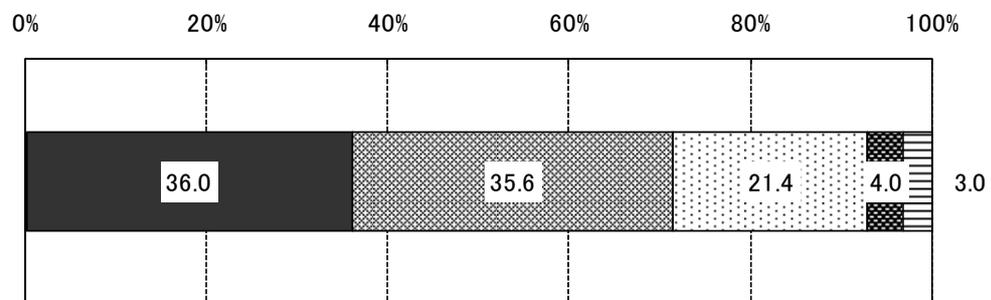
※ 複合化：近隣にある複数の公共施設を、1棟にまとめて建設すること。または、片方の公共施設へもう一方の施設機能を取り込むこと。

表 5 公共施設の移転場所についての考え方

(単位:人、%)

	全体	公共交通機関が充実した、地域の中心地であること	駐車場が十分確保できる郊外であること	他用途(福祉施設など)の既存公共施設用地へ集約すること	その他	無回答
回答者数	2,877	1,035	1,023	617	114	88
割合	100.0	36.0	35.6	21.4	4.0	3.0

図 5 公共施設の移転場所についての考え方



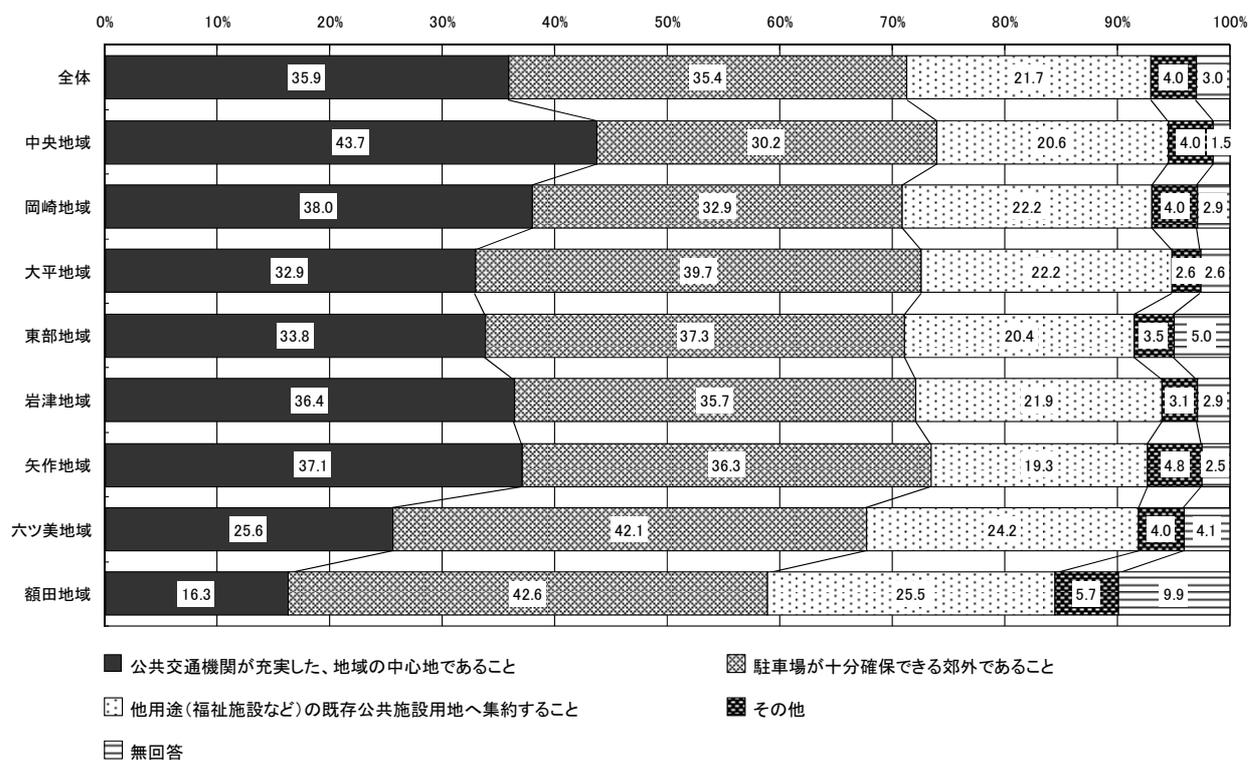
- 公共交通機関が充実した、地域の中心地であること
- ▨ 駐車場が十分確保できる郊外であること
- ▤ 他用途(福祉施設など)の既存公共施設用地へ集約すること
- ▧ その他
- ▩ 無回答

N=2,877

## <地域別>

中央地域では「公共交通機関が充実した、地域の中心地であること」が他の地域と比べて多く4割を超えている。岡崎地域、大平地域、東部地域、岩津地域、矢作地域などは、「公共交通機関が充実した、地域の中心地であること」と「駐車場が十分確保できる郊外であること」が同程度の割合となっているが、額田地域、六ツ美地域は、「駐車場が十分確保できる郊外であること」が特に多くなっている。

図 5 a 公共施設の移転場所についての考え方（地域別）

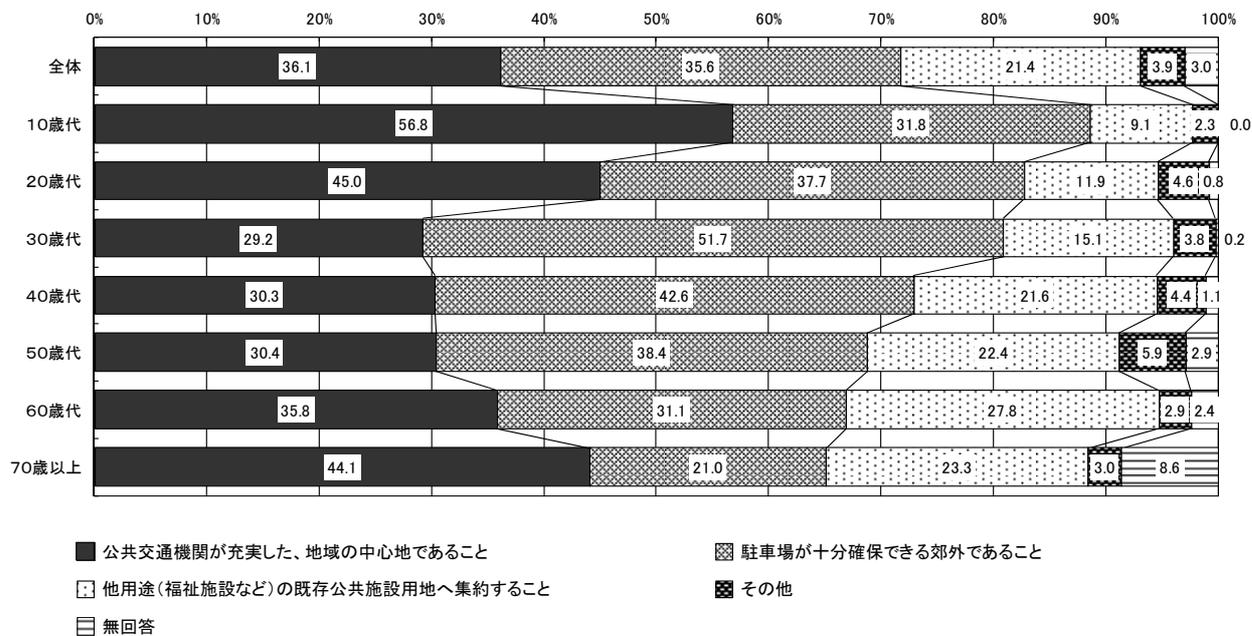


### <年齢別>

10歳代から20歳代では、「公共交通機関が充実した、地域の中心地であること」が多いが、30歳代から50歳代では、「駐車場が十分確保できる郊外であること」が多くなっている。

また、年代が上がるにつれて、「公共交通機関が充実した、地域の中心地であること」とともに「他用途（福祉施設など）の既存公共施設用地へ集約すること」が多くなっている。

図5b 公共施設の移転場所についての考え方（年齢別）



D 市の取組に対する満足度・重要度について

問 12（１） 市の行政施策に係る「現状の満足度」

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「6. 地域医療の充実」(49.7%)、「5. 保健衛生の充実」(49.1%)、「13. 良好な生活環境の確保」(46.0%)の項目で「満足している」「やや満足している」の回答が多く、満足度が高い一方、「20. 快適移動社会の実現」(24.6%)、「19. 都市魅力の向上」(22.0%)の項目で「不満である」「やや不満である」の回答が多く、満足度が低くなっている。

問 12

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

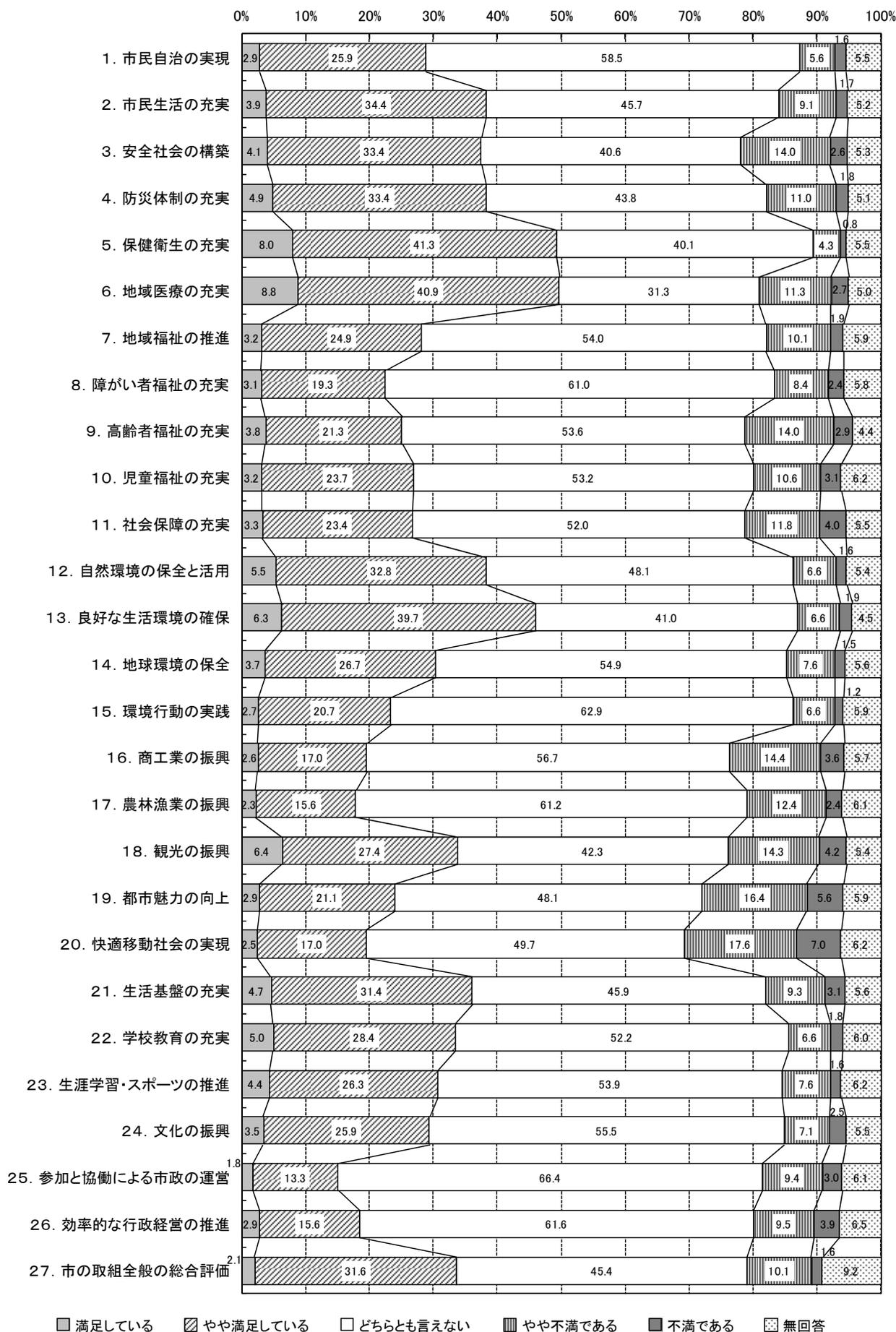
表 6（１） 市の行政施策に係る「現状の満足度」

(単位：人、%)

問 12(1)市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
1. 市民自治の実現	2,877	82	744	1,684	161	47	159
	100.0	2.9	25.9	58.5	5.6	1.6	5.5
2. 市民生活の充実	2,877	113	991	1,315	261	48	149
	100.0	3.9	34.4	45.7	9.1	1.7	5.2
3. 安全社会の構築	2,877	117	960	1,168	403	74	155
	100.0	4.1	33.4	40.6	14.0	2.6	5.3
4. 防災体制の充実	2,877	141	962	1,260	317	52	145
	100.0	4.9	33.4	43.8	11.0	1.8	5.1
5. 保健衛生の充実	2,877	229	1,188	1,153	123	22	162
	100.0	8.0	41.3	40.1	4.3	0.8	5.5
6. 地域医療の充実	2,877	254	1,178	900	324	79	142
	100.0	8.8	40.9	31.3	11.3	2.7	5.0
7. 地域福祉の推進	2,877	92	717	1,553	291	55	169
	100.0	3.2	24.9	54.0	10.1	1.9	5.9
8. 障がい者福祉の充実	2,877	90	555	1,754	241	69	168
	100.0	3.1	19.3	61.0	8.4	2.4	5.8
9. 高齢者福祉の充実	2,877	109	614	1,541	403	82	128
	100.0	3.8	21.3	53.6	14.0	2.9	4.4
10. 児童福祉の充実	2,877	91	683	1,532	306	88	177
	100.0	3.2	23.7	53.2	10.6	3.1	6.2

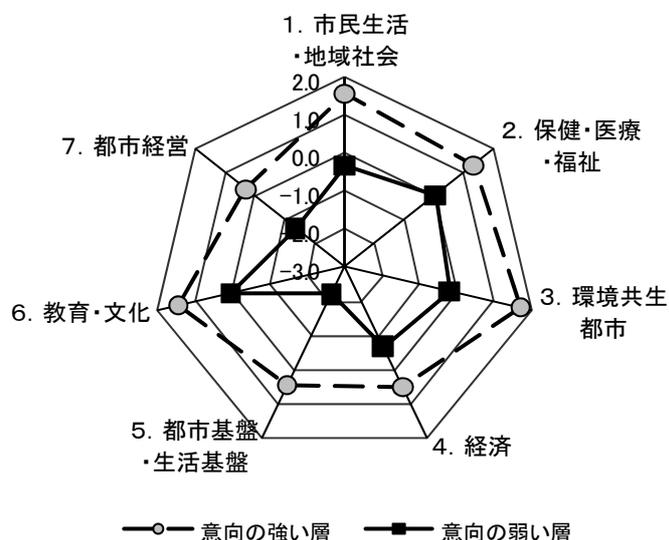
問 12(1)市の行政施策に係る 「現状の満足度」	全体	満足して いる	やや満足 している	どちらとも 言えない	やや不満 である	不満で ある	無回答
11. 社会保障の充実	2,877	96	673	1,495	339	116	158
	100.0	3.3	23.4	52.0	11.8	4.0	5.5
12. 自然環境の保全と活用	2,877	159	943	1,384	190	46	155
	100.0	5.5	32.8	48.1	6.6	1.6	5.4
13. 良好な生活環境の確保	2,877	180	1,142	1,181	191	55	128
	100.0	6.3	39.7	41.0	6.6	1.9	4.5
14. 地球環境の保全	2,877	107	769	1,579	220	43	159
	100.0	3.7	26.7	54.9	7.6	1.5	5.6
15. 環境行動の実践	2,877	78	595	1,811	191	35	167
	100.0	2.7	20.7	62.9	6.6	1.2	5.9
16. 商工業の振興	2,877	75	489	1,632	414	104	163
	100.0	2.6	17.0	56.7	14.4	3.6	5.7
17. 農林漁業の振興	2,877	67	448	1,762	356	69	175
	100.0	2.3	15.6	61.2	12.4	2.4	6.1
18. 観光の振興	2,877	185	787	1,218	412	122	153
	100.0	6.4	27.4	42.3	14.3	4.2	5.4
19. 都市魅力の向上	2,877	83	607	1,384	472	162	169
	100.0	2.9	21.1	48.1	16.4	5.6	5.9
20. 快適移動社会の実現	2,877	71	489	1,429	506	201	181
	100.0	2.5	17.0	49.7	17.6	7.0	6.2
21. 生活基盤の充実	2,877	134	902	1,320	268	88	165
	100.0	4.7	31.4	45.9	9.3	3.1	5.6
22. 学校教育の充実	2,877	144	816	1,502	190	51	174
	100.0	5.0	28.4	52.2	6.6	1.8	6.0
23. 生涯学習・スポーツの 推進	2,877	127	758	1,552	219	46	175
	100.0	4.4	26.3	53.9	7.6	1.6	6.2
24. 文化の振興	2,877	102	744	1,596	204	72	159
	100.0	3.5	25.9	55.5	7.1	2.5	5.5
25. 参加と協働による市政の 運営	2,877	53	382	1,910	270	85	177
	100.0	1.8	13.3	66.4	9.4	3.0	6.1
26. 効率的な行政経営の推進	2,877	82	449	1,772	272	113	189
	100.0	2.9	15.6	61.6	9.5	3.9	6.5
27. 市の取組全般の総合評価	2,877	59	908	1,305	292	46	267
	100.0	2.1	31.6	45.4	10.1	1.6	9.2

図6(1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」



次に問 12（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問 8 の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として居住継続意向が強い層はすべての項目に対し居住継続意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。特に「都市基盤・生活基盤」のカテゴリについては意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に大きな差が見られた。

図 6（1）－1 居住継続意向別 満足度評価（カテゴリ別）

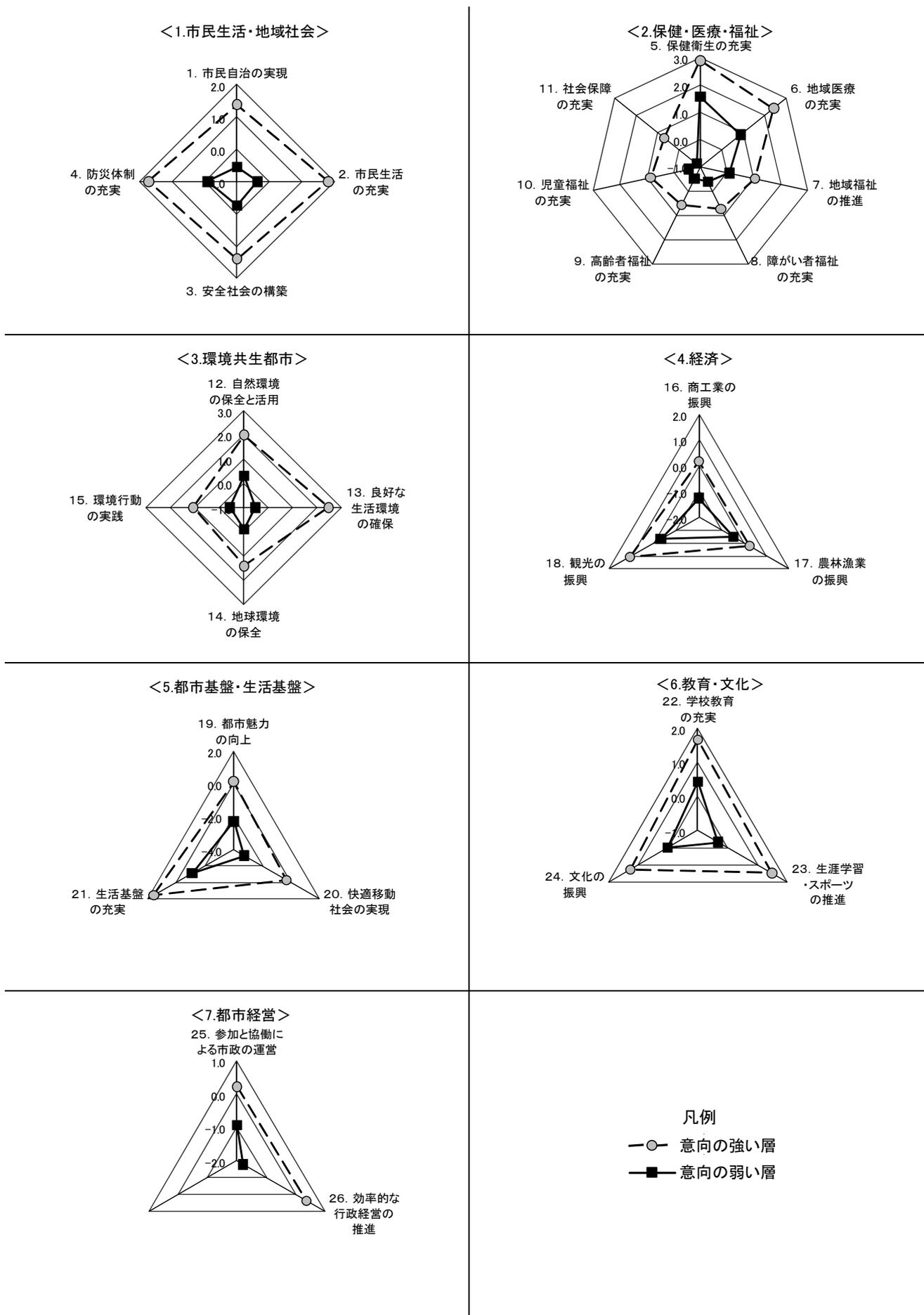


注：居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。問 12（1）現状の満足度についての 1 から 26 までの 26 項目を、その内容により「市民生活・地域社会」「保健・医療・福祉」「環境共生都市」「経済」「都市基盤・生活基盤」「教育・文化」「都市経営」の 7 カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問 8 の「ずっと住んでいたい」、「しばらくは住むつもりだ」、「市内の他の地域に移りたい」、「市外に移りたい」の回答に、それぞれ 2 点、1 点、1 点、2 点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問 12（1）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、10 点・5 点・0 点・-5 点・-10 点の得点を与え、合計得点を求め、有回答(『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの)件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問 8 の居住継続意向と、問 12（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図 6（1）－2 である。

各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、居住継続意向の強い層と弱い層とであまり違いは見られない場合が多い。強い層と弱い層で差が大きくなる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、市民生活・地域社会では「2. 市民生活の充実」、保険・医療・福祉では「6. 地域医療の充実」、環境共生都市では「13. 良好な生活環境の確保」、経済では「16. 商工業の振興」、都市基盤・生活基盤では「20. 快適移動社会の実現」、教育・文化では「23. 生涯学習・スポーツの推進」、都市経営では「26. 効率的な行政経営の推進」である。

図6 (1) - 2 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	1.39	-0.54	1.92
2. 市民生活の充実	1.81	-0.38	2.18
3. 安全社会の構築	1.39	-0.27	1.66
4. 防災体制の充実	1.72	-0.10	1.82
カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	2.89	1.57	1.32
6. 地域医療の充実	2.42	0.87	1.55
7. 地域福祉の推進	1.04	0.08	0.96
8. 障がい者福祉の充実	0.72	-0.38	1.10
9. 高齢者福祉の充実	0.57	-0.49	1.07
10. 児童福祉の充実	0.87	-0.57	1.43
11. 社会保障の充実	0.68	-0.82	1.50
カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	2.00	0.32	1.68
13. 良好な生活環境の確保	2.48	-0.53	3.01
14. 地球環境の保全	1.41	-0.09	1.51
15. 環境行動の実践	1.06	-0.44	1.50
カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	0.18	-1.26	1.44
17. 農林漁業の振興	0.24	-0.49	0.73
18. 観光の振興	1.08	-0.31	1.39
カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	0.14	-2.28	2.43
20. 快適移動社会の実現	-0.33	-3.26	2.94
21. 生活基盤の充実	1.57	-1.12	2.69
カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	1.66	0.43	1.23
23. 生涯学習・スポーツの推進	1.49	-0.32	1.81
24. 文化の振興	1.27	0.01	1.25
カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	0.23	-0.93	1.16
26. 効率的な行政経営の推進	0.38	-1.80	2.18

## 問 12（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「6. 地域医療の充実」（77.5%）、「4. 防災体制の充実」（77.4%）、「3. 安全社会の構築」（76.0%）、の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

### 問 12

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

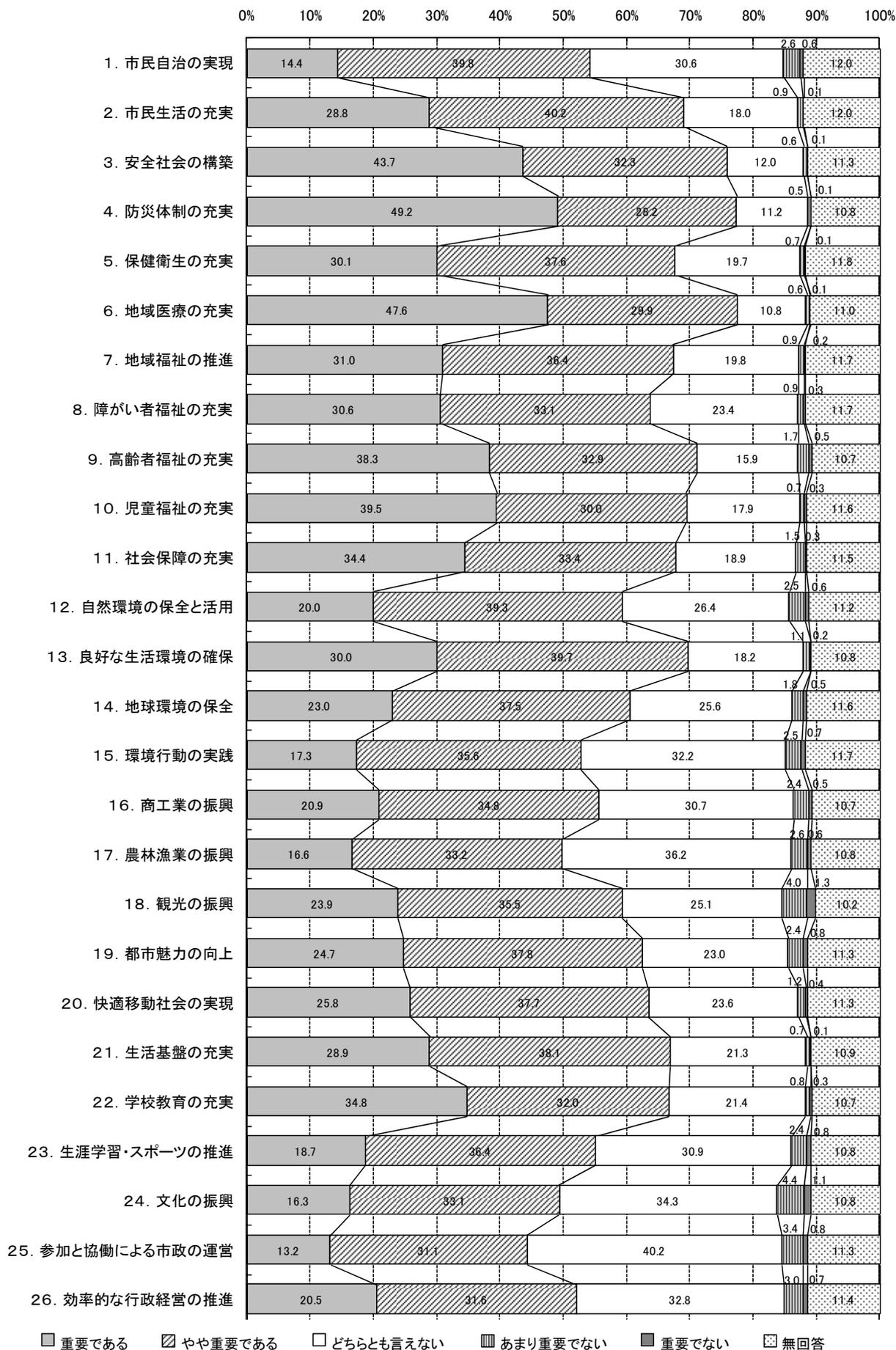
表 6（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」

（単位：人、％）

問 12(2)市の行政施策に係る「今後の重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1. 市民自治の実現	2,877	413	1,144	879	75	16	350
	100.0	14.4	39.8	30.6	2.6	0.6	12.0
2. 市民生活の充実	2,877	828	1,156	518	25	3	347
	100.0	28.8	40.2	18.0	0.9	0.1	12.0
3. 安全社会の構築	2,877	1,256	928	346	17	4	326
	100.0	43.7	32.3	12.0	0.6	0.1	11.3
4. 防災体制の充実	2,877	1,416	810	321	14	3	313
	100.0	49.2	28.2	11.2	0.5	0.1	10.8
5. 保健衛生の充実	2,877	866	1,083	566	19	2	341
	100.0	30.1	37.6	19.7	0.7	0.1	11.8
6. 地域医療の充実	2,877	1,370	861	312	17	4	313
	100.0	47.6	29.9	10.8	0.6	0.1	11.0
7. 地域福祉の推進	2,877	892	1,048	569	27	6	335
	100.0	31.0	36.4	19.8	0.9	0.2	11.7
8. 障がい者福祉の充実	2,877	879	951	672	26	8	341
	100.0	30.6	33.1	23.4	0.9	0.3	11.7
9. 高齢者福祉の充実	2,877	1,103	947	458	48	15	306
	100.0	38.3	32.9	15.9	1.7	0.5	10.7
10. 児童福祉の充実	2,877	1,137	862	514	20	9	335
	100.0	39.5	30.0	17.9	0.7	0.3	11.6
11. 社会保障の充実	2,877	990	961	543	43	10	330
	100.0	34.4	33.4	18.9	1.5	0.3	11.5
12. 自然環境の保全と活用	2,877	574	1,130	759	71	17	326
	100.0	20.0	39.3	26.4	2.5	0.6	11.2

問 12(2)市の行政施策に係る 「今後の重要度」	全体	重要で ある	やや重要 である	どちらとも 言えない	あまり重 要でない	重要で ない	無回答
13. 良好な生活環境の確保	2,877	863	1,143	523	31	6	311
	100.0	30.0	39.7	18.2	1.1	0.2	10.8
14. 地球環境の保全	2,877	661	1,078	736	51	15	336
	100.0	23.0	37.5	25.6	1.8	0.5	11.6
15. 環境行動の実践	2,877	498	1,024	926	73	20	336
	100.0	17.3	35.6	32.2	2.5	0.7	11.7
16. 商工業の振興	2,877	600	1,002	884	68	15	308
	100.0	20.9	34.8	30.7	2.4	0.5	10.7
17. 農林漁業の振興	2,877	478	956	1,041	76	17	309
	100.0	16.6	33.2	36.2	2.6	0.6	10.8
18. 観光の振興	2,877	688	1,022	721	116	37	293
	100.0	23.9	35.5	25.1	4.0	1.3	10.2
19. 都市魅力の向上	2,877	710	1,088	663	70	22	324
	100.0	24.7	37.8	23.0	2.4	0.8	11.3
20. 快適移動社会の実現	2,877	742	1,085	678	34	12	326
	100.0	25.8	37.7	23.6	1.2	0.4	11.3
21. 生活基盤の充実	2,877	832	1,095	614	21	3	312
	100.0	28.9	38.1	21.3	0.7	0.1	10.9
22. 学校教育の充実	2,877	1,001	921	617	22	8	308
	100.0	34.8	32.0	21.4	0.8	0.3	10.7
23. 生涯学習・スポーツの 推進	2,877	537	1,048	889	69	24	310
	100.0	18.7	36.4	30.9	2.4	0.8	10.8
24. 文化の振興	2,877	469	953	987	127	33	308
	100.0	16.3	33.1	34.3	4.4	1.1	10.8
25. 参加と協働による市政の 運営	2,877	381	894	1,157	99	23	323
	100.0	13.2	31.1	40.2	3.4	0.8	11.3
26. 効率的な行政経営の推進	2,877	591	909	944	86	21	326
	100.0	20.5	31.6	32.8	3.0	0.7	11.4

図6(2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

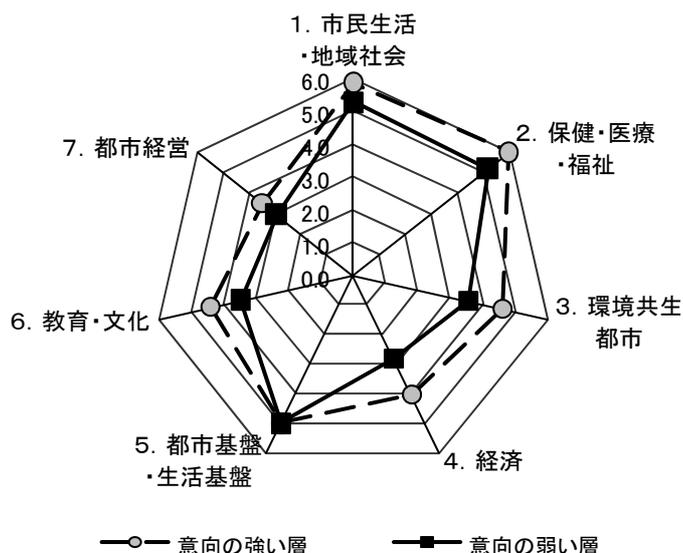


次に、問 12（2）市の行政施策に係る「今後の重要度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問 8 の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目は、居住継続意向の強い層と弱い層であまり差はみられない。前掲の満足度評価と同様、すべての項目において意向の強い層の方が得点が高いが、その得点差は「経済」を除き満足度より小さいことが読み取れる。

差が見られるのは主に居住意向の弱い層が強い層より重要度が低いと考えている場合であり、「経済」、「環境共生都市」、「教育・文化」となっている。

図 6（2）－1 居住継続意向別 重要度評価（カテゴリ別）



各カテゴリ内の項目についての傾向は以下の通りである。

市民生活・地域社会については、「1. 市民自治の実現」と「4. 防災体制の充実」において、意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。また、「2. 市民生活の充実」は意向の強弱による差はほとんど見られなかった。

保健・医療・福祉については、「6. 地域医療の充実」、「8. 障がい者福祉の充実」と「9. 高齢者福祉の充実」において、居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

環境共生都市については、「12. 自然環境の保全と活用」、「14. 地球環境の保全」と「15. 環境行動の実践」において、意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

経済については、「17. 農林漁業の振興」と「18. 観光の振興」において居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

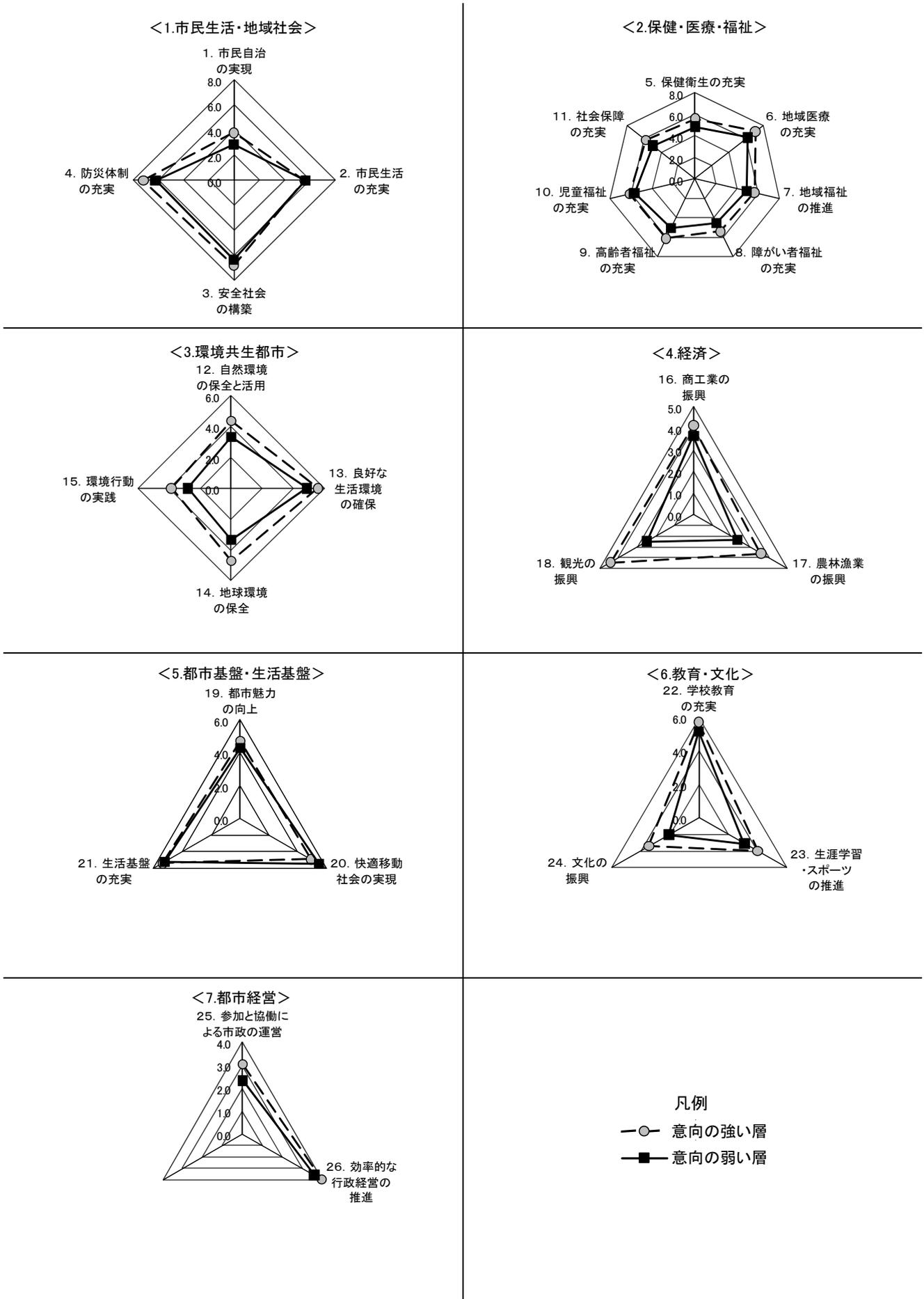
都市基盤・生活基盤については、居住継続意向の強い層も弱い層もほぼ同じ意見を有している。また、「20. 快適移動社会の実現」については、居住継続意向の弱い層がわずかに重要度を高く評価している。

教育・文化は、「23. 生涯学習・スポーツの推進」と「24. 文化の振興」において居住継続意向の強い層の方がより重要度を高く評価している。

最後に都市経営については、項目間での居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。

以上より、すべてのカテゴリにおいて、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価している。

図6(2)-2 居住継続意向別 重要度評価(項目別)



## (参考) 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	3.80	2.86	0.94
2. 市民生活の充実	5.60	5.64	-0.04
3. 安全社会の構築	6.79	6.30	0.50
4. 防災体制の充実	7.18	6.21	0.97
カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	5.62	4.88	0.74
6. 地域医療の充実	7.11	6.19	0.92
7. 地域福祉の推進	5.61	4.92	0.69
8. 障がい者福祉の充実	5.42	4.51	0.91
9. 高齢者福祉の充実	6.13	5.08	1.05
10. 児童福祉の充実	6.21	5.75	0.46
11. 社会保障の充実	5.78	4.98	0.80
カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	4.37	3.35	1.02
13. 良好な生活環境の確保	5.59	4.85	0.74
14. 地球環境の保全	4.69	3.34	1.35
15. 環境行動の実践	3.85	2.78	1.08
カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	4.14	3.66	0.48
17. 農林漁業の振興	3.59	2.34	1.25
18. 観光の振興	4.42	2.48	1.94
カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	4.72	4.29	0.43
20. 快適移動社会の実現	4.91	5.47	-0.57
21. 生活基盤の充実	5.39	5.24	0.15
カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	5.73	5.17	0.56
23. 生涯学習・スポーツの推進	4.02	3.12	0.90
24. 文化の振興	3.44	2.05	1.39
カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	3.04	2.33	0.71
26. 効率的な行政経営の推進	3.96	3.59	0.37

## 居住継続意向と満足度および重要度との関係について

下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。

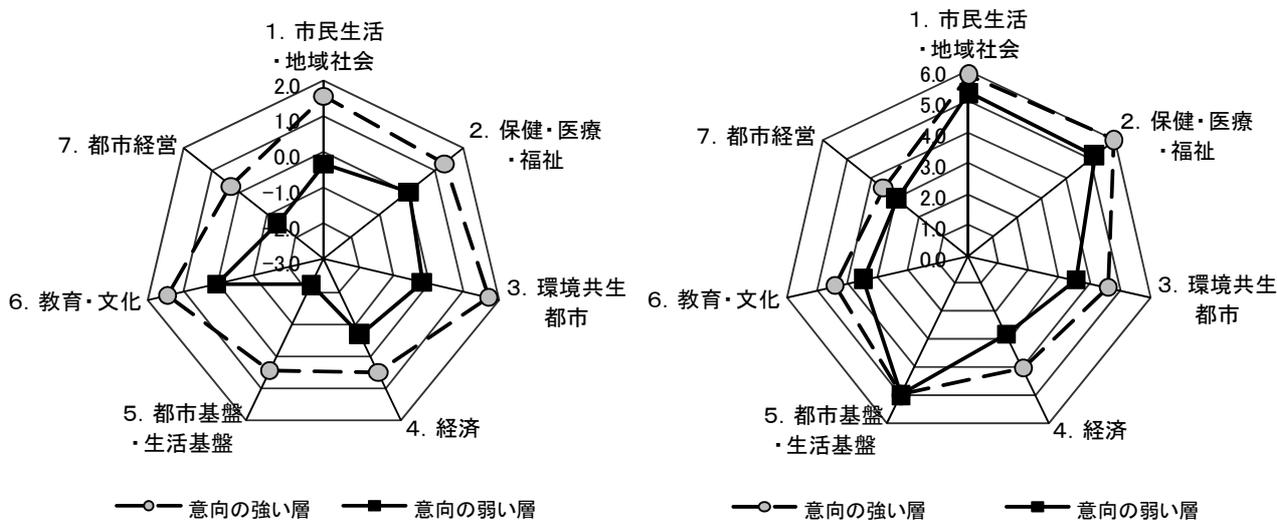
重要度についても満足度と同様に、居住継続意向の強い層は市の行政施策に対する重要度が相対的に高く、意向の弱い層は重要度も相対的に低い。が、「都市基盤・生活基盤」については居住継続意向による違いはほとんど見られなかった。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「教育・文化」と「環境共生社会」では重要度が相対的に低くなっており、この傾向は、居住継続意向の弱い層の「教育・文化」でより顕著である。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「市民生活・地域社会」と「保健・医療・福祉」では、重要度も高くなっている。現状に満足していてもなお、今後の重要度が高い。

居住継続意向の弱い層では「都市基盤・生活基盤」の満足度が他のカテゴリと比して低くなっているが、重要度の評価は他のカテゴリと大差ない。

図 6 - 1 居住継続意向別 満足度（左）と重要度（右）（それぞれ再掲）



## ニーズ得点について

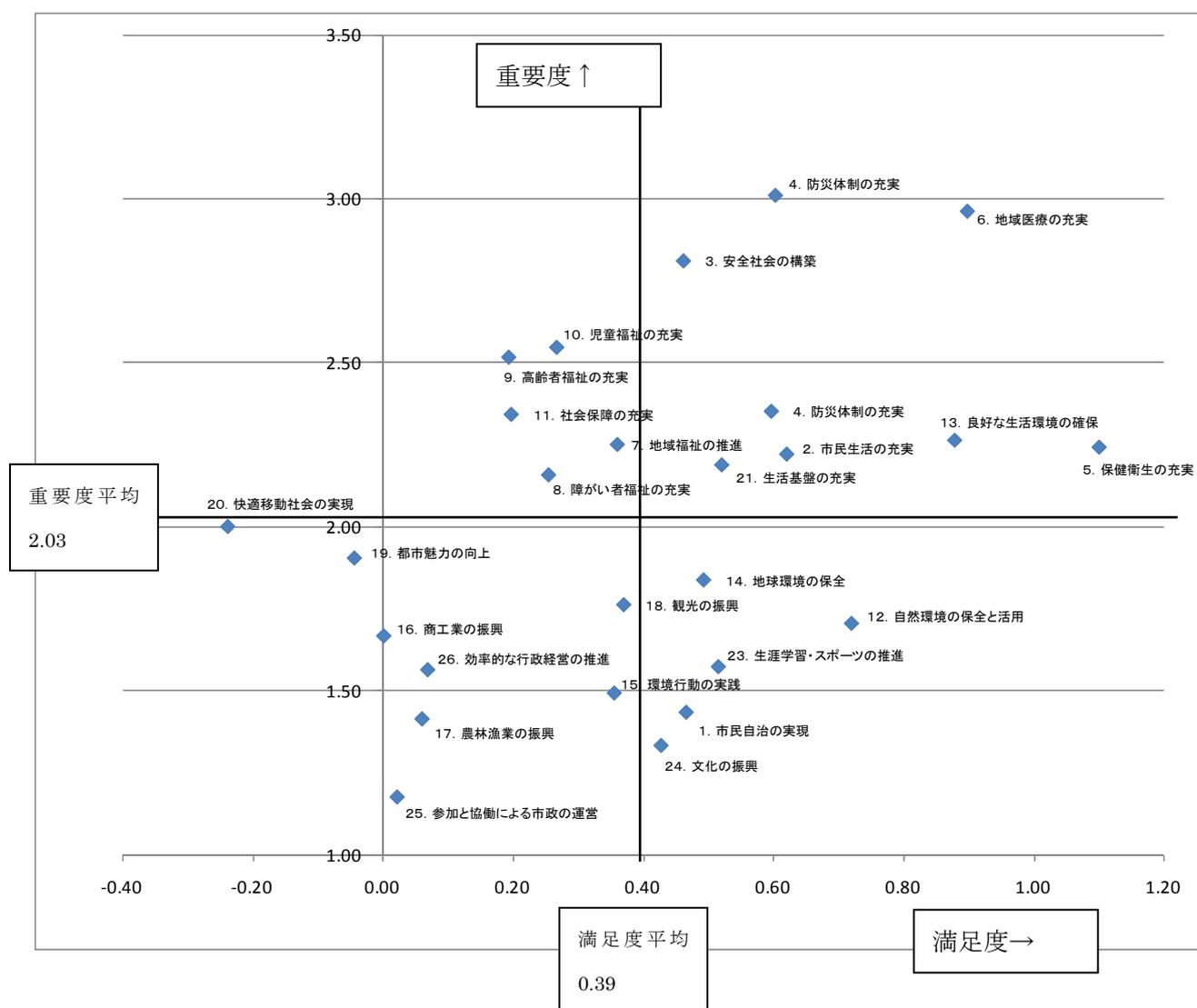
前記の結果から、次の方法で、満足度及び重要度の「平均ポイント」を算出した。下の図は各項目での満足度の平均ポイント、次ページの図は重要度の平均ポイントを示したものである。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	+5点
まあ満足	やや重要	+2点
どちらともいえない	どちらともいえない	0点
やや不満	あまり重要でない	-2点
不満	重要でない	-5点

### 【算出方法】 平均ポイント＝

$$\frac{\text{「満足/重要」} \times 5 + \text{「まあ満足/やや重要」} \times 2 + \text{「やや不満/あまり重要でない」} \times (-2) + \text{「不満/重要でない」} \times (-5)}{\text{回答者数 (人)}}$$

満足度及び重要度の平均ポイントを両軸にした、各施策項目の散布図を示す。この中で、重要度が高く満足度が低いものは優先すべき課題と考えられ、重要度は平均であっても満足度が最も低い「20. 快適移動社会の実現」や、重要度が高く満足度が比較的低い「9. 高齢者福祉の充実」「10. 児童福祉の充実」などが該当する。

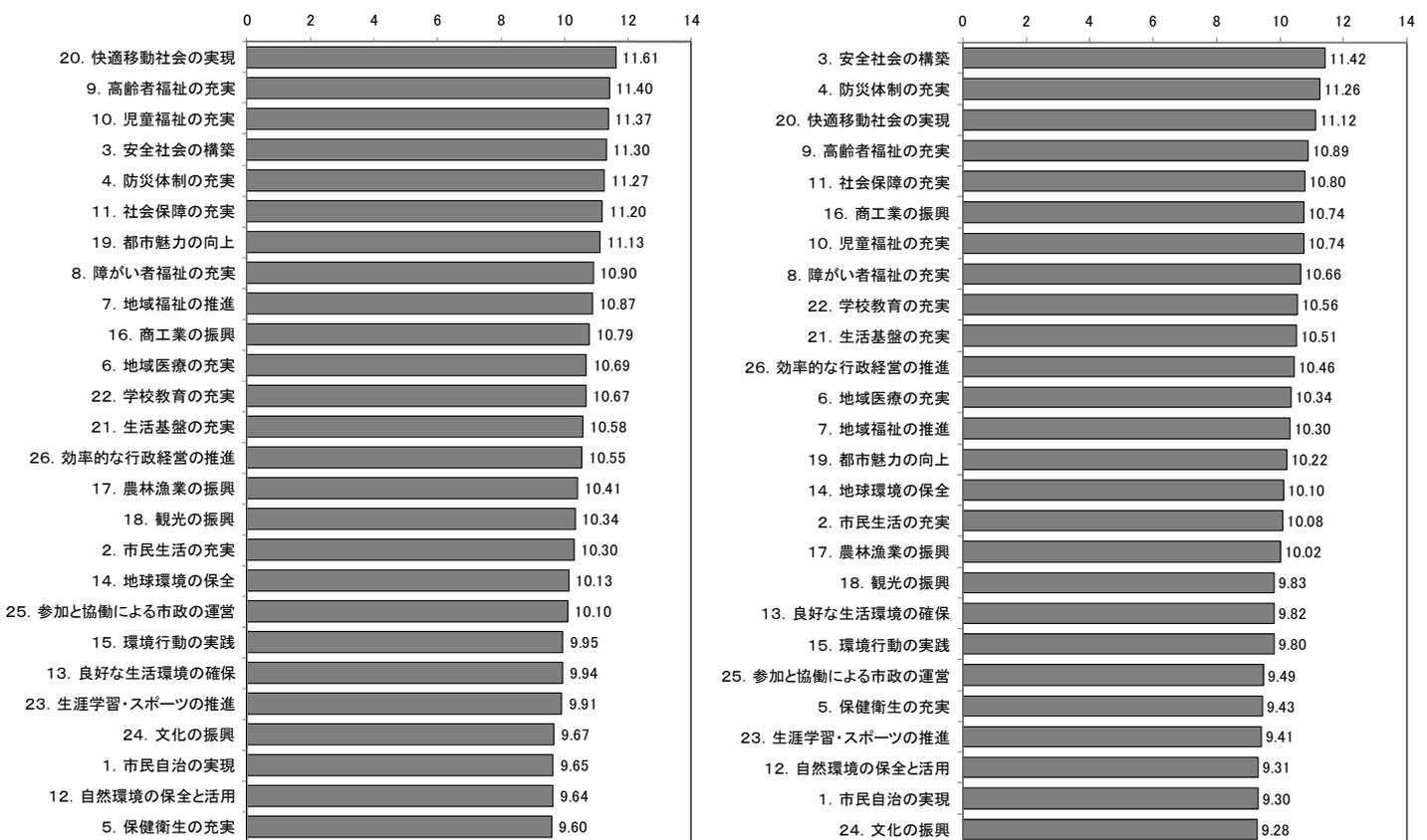


満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」を算出した結果、ニーズ得点の高い項目としては、重要度は平均であっても満足度が最も低い「20. 快適移動社会の実現」(11.61)、重要度が高く満足度が比較的低い「9. 高齢者福祉の充実」(11.40)、「10. 児童福祉の充実」(11.37)が上位三位に挙げられる。

これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

また、平成 25 年度の調査では、「3. 安全社会の構築」(11.42)、「4. 防災体制の充実」(11.26)、「20. 快適移動社会の実現」(11.12)が上位三位であった。順位が3以上上がった項目としては、「19. 都市魅力の向上」(14位⇒7位)、「10. 児童福祉の充実」(7位⇒3位)、「7. 地域福祉の推進」(13位⇒9位)、「24. 文化の振興」(26位⇒23位)がある。

図 6-2 ニーズ得点 (左：平成 28 年度、右：平成 25 年度)



(参考) ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものととらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問 12 の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

注) 満足度及び重要度に、次のように5段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらとも言えない	どちらとも言えない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで (6 - 満足度得点) は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は1～25点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど(不満度が高くなるほど)高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

## E 自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、多様な分野について1,635件の意見が寄せられた。

寄せられた意見を下記の分野ごとに意見を整理した。なお、類似した意見については1つの意見に集約している。

- 1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり（市民生活・地域社会の充実）
- 2 健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実）
- 3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり（環境共生都市の実現）
- 4 賑わいと活力あるまちづくり（経済の振興）
- 5 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤・生活基盤の整備）
- 6 未来を拓く人を育むまちづくり（教育・文化の振興）
- 7 将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践）

## 1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり(市民生活・地域社会の充実)

<p>市民自治 市民生活</p>	<p>希望と生き甲斐のある岡崎市に／安心して育休から復帰できる環境に／外国人の方にも住み良い岡崎市に／係を皆で協力出来る対策を／行事で六名体育館を使わなくなったので、また利用してほしい／交通の便や生活環境等、地域による格差をなくす／公民館や集会所が必要／交流館を充実させてほしい／高齢者が集まれる場所がほしい／高齢者と子供が触れ合える場／高齢者の住みやすい街に／子どもが住み易いまちに／子どもの頃からボランティアや祭りに参加させる／郊外の生活環境にも気を配ってほしい／市施設の休日を月曜日以外にしてほしい／静かに暮らしたい／市中央から遠い人々が楽しめる計画を／市民参加の行事を増やしてほしい／市民生活を充実させてほしい／消防団の数を減らす／住み良い岡崎市にしてほしい／精神的に繋がり助け合う街づくりを／総代にしっかりしてもらいたい／総代への感謝状を廃止する／総代を調べてほしい／団地内にポストがほしい／地域交流センター内にATMがほしい／地域にもっと目を向けてほしい／地域のコミュニケーションを増やしてほしい／地域の実態を調査してほしい／町内会の仕事を減らしてほしい／町内費の集金方法を見直してほしい／なんでも総代に頼らず行政が直接動いてほしい／身近な生活に関係あることを大切に／民生委員の年令を若くして／若い人の住み易いまちに</p>
<p>安全社会</p>	<p>街路灯を増やしてほしい／LED電球に変えてほしい／空きスペースを有効活用する／安心して暮らせる岡崎市に／安全なまちにしてほしい／一般市民の生活圏に風俗店を出店させない／ガードレールをつけてほしい／外国人労働者への対応をはっきりさせてほしい／交番がほしい／治安を良くして／長く安心して暮らせる岡崎市にしてほしい／パチンコ屋をなくしてほしい／パトカーによるパトロールを強化してほしい／パトロールを増やす／東岡崎駅の夕方から夜のパトロールを強化する／防犯カメラを設置してほしい／マナーを良くしてほしい／六ツ美地区に交番がほしい</p>
<p>防災体制</p>	<p>公園の防災道具入れを見直してほしい／災害時の避難場所を整備する／災害対策をしっかりしてほしい／市民ホームの耐震対策／集合密集地の耐震対策／消防団に予算をあててほしい／治水事業を強化してほしい／鉢地川の整備／非常持ち出し品を市から支給してほしい／日名橋辺りの堤防の整備／避難場所を見直してほしい／防災ガイドブックはもっと具体的な内容に／防災対策に力を入れてほしい／防災マップの使い方を説明してほしい／末端の方まで川の整備をして／矢作川の氾濫対策／矢作地区の液状化対策</p>

## 2 健やかに安心して暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉の充実)

<p>保健衛生 地域医療</p>	<p>康生地区に病院がほしい／アパート、マンション居住者にごみ収集日を徹底させる／医療、介護、福祉を充実してほしい／医療費は一度負担金を支払い、後日返金してもらう制度に／インフルエンザ予防接種を学校で集団接種に／岡崎特別支援学校に近い場所に医療養育センターがほしい／高額医療費還付金を領収証がなくても払ってほしい／高校生の医療費を無料に／市民病院の医者を充実してほしい／市民病院の対応を見直してほしい／市民病院の待ち時間を短く／市民病院の利用条件を見直してほしい／社保加入でも検診を受けられるように／重病者は3か月以上でも病院から出さないでほしい／出産出来る病院を増やす／精神医療の自立支援を無料に／総合病院を拡充してほしい／地域医療の偏りをなくす／東部地域に病院がほしい／ドナー登録数を増やしてほしい／土日の医療費を安くして／二次医療機関の体制を見直してほしい／病院、医療施設を充実してほしい／病院、施設をまとめる／病院の診療時間を長くしてほしい／病院を増やしてほしい／病気の人でも入れる老人施設を増やす／不妊治療出来る病院を増やす／不妊治療の支援</p>
<p>福祉</p>	<p>保育士、介護士の給料を上げてほしい／幼保福祉関係が合体した施設を／介護施設に安価で入れるように／介護施設を充実させて／介護保険を見直してほしい／介護をしている人へのサポートを充実してほしい／在宅介護者に支援を／3世代同居を推進するための税金の優遇／行きやすい保養所がほしい／色々な補助についてもっとお知らせしてほしい／高齢者にも仕事を紹介してほしい／高齢者福祉施設を充実させる／高齢者福祉を充実させる／支援センターの充実／若年者向けのリハビリ施設がほしい／障害者が住み易いまちに／障害者雇用に積極的な企業を増やす／障害者雇用について理解してほしい／障害者の住み易いまちに／障害者の働ける場所を増やしてほしい／障害者福祉の充実／生活が出来る程度の年金がほしい／生活保護の不正受給防止に取り組んでほしい／税金を地元へ還元する／税金をなくしてほしい／税金を払ってきたのだからいざという時何とかして／税金を安く／地域センターを充実させてほしい／中軽度の子どもたちの受け入れを増やす／デイサービスにいけるようにしてほしい／特養に入れるようにしてください／ドライブスルーの託児、託老施設を／乳がん検診の無料チケット配布年齢を下げてほしい／認知症に対する支援を充実して／認知症予防体操を週1回やってほしい／年金受給者への補助を平等に／年金で入居できる老人施設がほしい／働きづらい人に食費の支援を／働けない人を支援してほしい／発達障害者への支援を増やす／貧困に苦しんでいる子どもたちへの食事提供／福祉、介護施設に力を入れてほしい／福祉、教育に力を入れる／福祉、保健を充実させる／福祉関係を充実させる／福祉施設の運営を見直す／福祉施策は子ども、高齢者、障害者平等に行ってほしい／福祉センターが大平にほしい／福祉に関わる人材育成を／福利厚生を充実させてほしい／補助や制度を近隣と同程度以上に取り入れてほしい／本当に困っている時に助けてくれるシステム／本当に困っている人の意見を聞いてほしい</p>

<p>子育て</p>	<p>保育士の教育に力を入れる／保育園を改修してほしい／保育園、小中学校の冷暖房を完備してほしい／保育園のおやつを手作りに／保育園の給食内容の改善／雨でも遊べる子どもの遊び場がほしい／付属小学校はスクールバスに／保育園、幼稚園の駐車場を広くして／父子、母子家庭を支援してほしい／本当に困っている子どもを助けてあげて／JR岡崎駅近くに保育園がほしい／遊び場が必要／一時預かりをしてくれる施設／学童に入れるように／学童の開所時間を土曜日も7時半に／学童の金額を下げてほしい／学童の時間を延長して／学童を作してほしい／禁止事項ばかりでなく地域で子どもを育てる／公立幼稚園をふやしてほしい／子育て支援センターが必要／子育て支援を充実させて／子育てしやすいまちに／子どもが安心して寄れる場所を作って／子ども食堂がほしい／子どもたちのために税金を使ってください／子ども手当を見直してほしい／子どもの遊び場がほしい／子どもの家の雨漏りを直して／子どものための政策を／子どもの定期健診を月齢に合わせてほしい／子どもを増やしてほしい／児童育成センターの開所時間を早くしてほしい／児童育成センターの食事を長期休日の間も注文できるように／児童育成センターの定員を増やす／児童福祉を充実してほしい／市内南部に病児保育施設がほしい／少子化対策／小さい子どもの24時間緊急預け先がほしい／乳幼児の予防接種を無料にしてほしい／保育園に入園しやすくして／保育園に未就園児が遊びにいける行事がほしい／保育園を増やす／水遊びの出来る場所がほしい</p>
------------	--

### 3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり(環境共生都市の実現)

地球環境	<p>ゴミ収集日の立当番を見直してほしい／ゴミの分別を見直す／伊賀川の桜並木を戻して／岡崎公園の整備、桜の手入れ／岡崎城のお堀に花を植えてほしい／乙川発電所跡に桜、もみじ、藤を植えてほしい／自然を大切に／自然を有効活用する／人と自然環境を大事にする社会を目指す／蛍が見られる環境に／街中に木々がほしい</p>
生活環境	<p>クリーンセンターの受付時間を延長してほしい／河川堤防の草刈り回数を増やす／環境整備をしっかりしてほしい／草刈りを定期的に丁寧にしてほしい／草取り業者をきちんと選んでほしい／草や本を燃やさないようにさせる／／公害を発する事業所は住宅環境から離してほしい／公衆トイレをきれいに／ゴミ処理場が近いので環境の安全を定期的に検査する／自動車公害をなくす／獣害対策をしてほしい／清潔な街に／煙草は自宅の中か車だけに／道路の草取りを丁寧にしてほしい／土手に「ふんの始末」の看板を立てる／水を美味しくしてほしい／民間のごみ焼却場が土日に悪臭を放つのをやめさせて／矢作川堤防の草刈りの回数を増やしてほしい</p>

#### 4 賑わいと活力あるまちづくり(経済の振興)

<p>商工業</p>	<p>土日祝の許可の下りていない工事を取り締まってください／歩いて行ける場所に商業施設がほしい／安定して働ける雇用環境を作る／医薬品工業を誘致してほしい／駅前の飲み屋を増やしてほしい／おかざき振興券を復活してほしい／乙川沿いを整備し、商店を誘致する／娯楽施設を充実させてほしい／地元で就職しやすいようにして／商業施設を増やしてほしい／大企業を誘致する／近くに生活必需品を買いに行ける店がほしい／中小企業に対する支援を／名古屋、京都の店を誘致する／額田地区のJAを充実させてほしい／北野柵塚駅周辺にカフェやスーパーを誘致する</p>
<p>農林業</p>	<p>額田地区への対応を見直してほしい／額田地区を活性化して／中山間地にこそ今まで以上の施策を充実させる／畑や放置田んぼを高齢者を使って利用してほしい／T P Pに批准しないでほしい／市の中心地へ農遊館を誘致する／地場産業を魅力的に躍進させる／中山間部の農林業を活性化してほしい</p>
<p>観光</p>	<p>岡崎城に車イス駐車場と障害者トイレがほしい／葵武将隊を活躍させてほしい／葵武将隊をきれいに／家康行列と100周年記念パレードは別にしてほしい／イベントを充実させる／駅から城までを城下町っぽくしてほしい／オカザえもんをもっと活用する／岡崎が楽しい場所であるPRを／岡崎公園の魅力を高める／岡崎城下町の整備／岡崎城周辺を活性化してほしい／岡崎城を木製に／岡崎で体験型の観光をしてほしい／岡崎の良いところをアピール／岡崎名物を増やしてほしい／岡崎は観光地にしないでほしい／行うなら市民参加型のイベントに／観光イベントを増やす／観光客が滞在できる街づくり／観光に力を入れてほしい／観光名所を回るバスを運行してほしい／気軽にジャズを楽しめる環境／桜まつりの乙川河川敷は駐車場にしないでほしい／市外からの人たちが訪れるように／市政記念日だけでなく合併記念行事もしてほしい／ジャズの街としての演出を取り入れ、有名にする／庭園やイングリッシュガーデンがほしい／殿橋下流からボート遊び出来るように／夏祭りで五万石踊りを復活させる／花火大会で招待席を設けてほしい／花火大会を盛り上げてほしい／花火の打ち上げ場所を一か所に／花火の積敷を安くして／花見や花火などのイベントを沢山する／冬の催事を何かしてほしい／無理な観光のPRはしないでほしい</p>

## 5 快適で魅力あるまちづくり(都市基盤・生活基盤の整備)

<p>都市魅力 生活基盤</p>	<p>岡崎市街地に活気を／矢作川河川敷を有効活用する／保育園や学校周辺のインフラの整備／棚田公園の駐車場を増やす／公園に駐車場を増やす／公園の駐車場を広くしてほしい／男川、乙川に遊歩道を設置する／ホテルを誘致する／立派なホテルを誘致してほしい／国立共同研究所をPRして／スーパー銭湯がほしい／矢作川から西側の生活環境をよくする／スケボーやBMXの出来る公園がほしい／市民休養施設がほしい／公共施設を充実させる／公共施設を分散させる／公園がほしい／公園の設備などボランティアを活用して良い状態を維持してほしい／犬、猫、鳥などと一緒に暮らせるまちに／犬の散歩コースかドッグランがほしい／駅前にホテルを建てないでほしい／大型マンションを増やさない／芝生公園がほしい／水道メーター交換を全戸無料に／空き家対策／市街地の空き家対策をしてほしい／老朽化した市営住宅の改築、新築をしてほしい／下水道の整備／公園遊具を充実させる／家族やお年寄りがゆっくり出来る場所がほしい／JR岡崎駅周辺を活性化してほしい／愛着や興味の持てる岡崎に／足助街道を活性化させる／駅周辺の環境美化に力を入れる／駅にエレベーターがほしい／駅のトイレを改善してほしい／岡崎駅周辺のインフラの整備／岡崎駅周辺を活性化してほしい／岡崎が好きになれるように／岡崎市が発展してほしい／岡崎市を活性化してほしい／大人と子供が一日遊べる場所／旧セルビの跡地を有効活用してほしい／綺麗な岡崎市に／元気な岡崎市にしてほしい／市の中心地をはっきりしてほしい／市の中心に人を集める／シビコ辺りをおしゃれな街並みにしてほしい／シャワートイレを設置してほしい／将来に渡り多くの人に利用してもらえ施設を作してほしい／セルビ跡地を有効活用してほしい／中総体育館のトイレを洋式に／電線を地中に埋めてほしい／東部を活性化させる施設／道路の幅を広くして／都市ガスを普及してほしい／都市計画をしっかりとしてほしい／日本の地域の見本となる岡崎になってほしい／バリアフリー／東岡崎駅周辺を活性化してほしい／東岡崎から岡崎公園、康生の街歩きが楽しくなるように／東岡崎のトイレを整備してほしい／北部も活性化してほしい／誇りの持てる岡崎市にしてほしい／本宿駅にコンビニがほしい／美合駅を整備してほしい／未完成の工事を放置しない／道の駅がほしい／魅力ある岡崎市に／六ツ美地区を後回しにしないでほしい／名鉄東岡崎駅のトイレを洋式に／名鉄岡崎公園駅前にエレベーターがほしい／康生地区のインフラ整備／康生地区の活性化／矢作地区を便利にしてほしい／豊かな岡崎市にしてほしい／良いところを活かしてほしい／竜海中周辺のインフラの整備／若者が集まるまちづくり／滝山東照宮周辺のインフラの整備</p>
<p>快適移動社会</p>	<p>JRと名鉄東岡崎駅を一緒にしてほしい／愛環でICカードを使えるようにしてほしい／一方通行の見直し／インフラ整備／岡崎SAにスマートインターチェンジがほしい／岡崎駅から東岡崎、康生に路面電車を走らせる／岡崎公園の駐車場料金を安くしてほしい／岡崎城公園の駐車場を増やす／車社会から脱却してほしい／車の運転マナーをよくしてほしい／公共交通機関の料金を下げてほしい／公共交通機関</p>

を充実させてほしい／公共施設の駐車場の出入りをしやすくする／公共施設の駐車場を増やす／交通マナーを良くしてほしい／市中心部へのアクセスを便利にしてほしい／自転車が走りやすいようにインフラの整備をしてほしい／市民会館の駐車場を増やす／市民会館へのアクセスを良くしてほしい／市役所の駐車場を広くしてほしい／市役所の立体駐車場を建てなおしてほしい／渋滞の解消／終バスの時間を遅くしてほしい／新東名へのアクセスをよくしてほしい／スマートインターチェンジを活用する／駐車場の段差をなくす／駐車場を増やしてほしい／電車の駅をもっと増やしてほしい／道路工事を同じ場所で繰り返さない／南北の道路を作してほしい／橋を増やして／バスコースをわかりやすく／バス優先道路を作してほしい／東岡崎駅周辺のインフラの整備／東岡崎とJR岡崎駅のアクセスを良くしてほしい／東岡崎と康生を結ぶ道がほしい／補助券や利用無料券の配布／六ツ美地区の公共交通機関を充実してほしい／名鉄東岡崎駅にエスカレーターがほしい／康生地区の駐車場を増やす／康生町の駐車場を無料に／矢作橋と西岡崎に快速が止まるようにしてほしい／矢作橋駅に特急列車、急行列車を止めてほしい／

## 6 未来を拓く人を育むまちづくり(教育・文化の振興)

<p>学校教育</p>	<p>学生に就学補助をしてあげてほしい／学区の見直し／学校、保育園、老人施設などに使える施設を作ってほしい／学校給食に岡崎の地産食品を使う／教育設備を充実させる／教育に力を入れてほしい／教員の仕事の見直しをしてほしい／教師、保育士の労働時間について見直してほしい／高校、大学の授業料をなくす／国立、公立大学を誘致してほしい／子どもの教育に力を入れる／子どもの勉強する場所がほしい／市内の学校によって行事の差をなくす／小学校の夏休みの日誌があるとよい／小中学校にクーラーをつける／小中学校を新しくしてほしい／私立学校の誘致／人材育成をしてほしい／大学を誘致する／中学校の制服や体操服を変えてほしい／中学校の先生の質を上げる／中学校を自由に選択できるように／テスト週間に勉強の出来る場所がほしい／保育士短大の学費を安くして／未成年者にも行政をわかりやすく教えてほしい</p>
<p>生涯学習 スポーツ</p>	<p>六名体育館の駐車場を広くして／図書館の駐車場を増やす／公園に運動出来る器具がほしい／占部川の遊水池をグランド利用できるように／岡崎総合運動場のテニス教室を存続させてほしい／グランドがほしい／公民館の本と席を増やす／市民マラソン大会にフルマラソンを追加してほしい／社会人スポーツを子どもにもやらせてほしい／生涯学習出来る場を充実させる／人工芝のサッカー場／スポーツ施設の新設、改修を計画的に進めてほしい／スポーツ施設を充実させる／地域の人たちが集まれる場所がほしい／使いやすいサークル活動の会場が必要／図書館の開館時間を延ばす／図書館の本の返却場所を増やす／図書館や運動施設が駅前にほしい／年寄りに生き甲斐が必要／日清紡美合工場跡地をグランドに／額田の図書館をなくさないで／バスケットボールの出来る場所がほしい／プールがほしい／南公園のプールをきれいに／南中学のプールを使えるようにしてほしい／六名体育館に冷暖房がほしい</p>
<p>文化</p>	<p>市民会館の改修についてのビジョンを知らせてほしい／りぶらの駐車場の時間を長くする／りぶらの駐車場を増やす／りぶらの駐車場を無料にする／市民会館は新築してほしい／市民会館を改装してほしい／大きな公演の出来る文化会館がほしい／多くの場所でジャズを流す／岡崎市美術博物館内にアートショップを復活させる／芸術に関心を持てるイベントをしてほしい／サブカルチャーの文化にも興味を持ってもらいたい／市民会館を活用する／日常生活に隣り合う文化施設がほしい／美術館の収蔵品の一覧を市政だよりも載せる／文化、福祉を充実させる／文化事業に力を入れる／文化施設を充実させる／文化の復興に力を入れる／歴史遺産を大切に活用してほしい</p>

## 7 将来まで自律した状態が続く都市経営(自律した都市経営の実践)

<p>参加と協働</p>	<p>HPを充実させる／新しいアイデアを取り入れてほしい／岡崎市HPに意見箱を設置する／議会だよりをわかりやすくしてほしい／行政施策をもっと市民にアピールする／行政に若い力を取り入れる／行政の情報開示をしてほしい／行政を身近なものに／広報を充実させる／様々な施策をアピールしてほしい／市政情報をHPにわかりやすく掲載してほしい／市政だよりに温かい言葉を入れる／市政だよりを見やすくする／市政だよりをわかりやすくする／市長と市議会の距離をなくしてほしい／市長の顔が見えるように／市民に伝わる活動をしてほしい／市民の声を聞いてほしい／市民の声を聞くシステムを作してほしい／市民のために行政をしてほしい／住民に情報を開示してほしい／地域の声を聞いてほしい／ビジョン、方向、指導が必要／部外者も受け入れてほしい／閉鎖的にならないでほしい／またアンケートをしてほしい／民間の人の意見を受け入れる／もっと説明会や議論の場が必要</p>
<p>効率的な行政経営</p>	<p>近隣の市、町との関連についても事業、施策を理解させる／〇〇計画など市民レベルでないことはやめてほしい／10年、20年先を見据えた行政を／箱物ばかり造らないでほしい／公共施設をまとめてほしい／100周年記念事業を成功させてほしい／100周年記念のようなイベントを継続的に行ってほしい／意外性のある施策を／一部の人だけが恩恵を受けないように／岩津支所は更に改革してほしい／岡崎独自の施策を／乙川リバーフロント計画を見直す／思い切った展観と大胆な発想で行政をしてほしい／蒲郡市と対等合併する／議員数を削減する／議員の在り方を見直す／きちんと監査してほしい／業者の言うなりにならない／行政の無駄をなくす／行政に見える化してほしい／口先だけではなく行動してほしい／クリーンセンターに無駄なお金を使わない／堅実にしてほしい／現状の施設の維持管理に力を入れてほしい／現状をうまく利用する／現場へ出て市民感覚を醸成する／広報は希望世帯だけにしてほしい／広報は月1回にしてほしい／公務員のレベルアップ／財政の健全化／財政を増やす努力を／市議員の活動が見えるようにしてほしい／市議会の活動の透明性を高める／市議会はセクハラ問題にしっかり対処してほしい／市議のモラルを高めてほしい／市議はしっかり行動してほしい／資金を生み出す工夫／市自体が市民と積極的に関わってほしい／市職員が頑張してほしい／市職員の給料を下げてほしい／市職員の仕事を直視する／市職員の人員配置を見直す／市職員の対応を見直してほしい／市職員の退職金を減らす／市職員の人数を減らす／市井に入って真実を見てほしい／市政をスピード化する／市長が頑張してほしい／市長の志を高くしてほしい／市役所職員が市のために働いてほしい／市役所職員は頑張してほしい／市役所職員はしっかり働いてほしい／市役所駐車場、庁舎前に立っている人を時間帯によってなくしてよい／市役所の窓口を平日時間外や土日も開けてほしい／小、中学校の空き教室を介護施設など有効利用する／税金の使い方を見直す／税収が増えるようにしてほしい／他市の良い施策を取り入れてほしい／建物を新たに作らず既存のものを利用する／縦割り行政の見直し／誰が責任をもって仕事を</p>

<p>考えているか市民に分かるように／豊田市と仲良くしてほしい／東公園の恐竜などに無駄なお金を使わないでほしい／東公園のミニ動物園を有料にしてほしい／人が集まり賑わう場所がほしい／不要な橋を造らないでほしい／保健所と福祉課は連携してほしい／ボス政治にならないように／施しは慎んでほしい／本多邸などに無駄なお金を使わないでほしい／待っているのではなく積極的に／見える行政をしてほしい／身を切る改革をして少子高齢化対策をしてほしい／無駄な橋や石像を造らない／六ッ美支所の人を減らす／わかりやすい市制に／維持、管理、運営などの基盤を長期的に考える／基準を見える化し、市民の納得を得て行動してほしい／議員報酬、政務活動費を半額にほしい</p>
---

参考：調査票

---

---

## 平成 28 年度市民意識調査

- あなたの声をお寄せください -

---

---

日頃は、市政にご理解とご協力をくださりありがとうございます。

このたび郵送しました市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施するもので、市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に選定しました 5,000 人の方にご協力をお願いしています。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 7 月

岡崎市長 内 田 康 宏

### ご記入にあたって

- ◎ できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いいたします。  
ご本人がご回答できない場合は、ご家族がお答えくださいますも結構です。
- ◎ ご回答は、この調査票の 2 ページ以降に、直接、ご記入ください。
- ◎ ご記入が済みましたら、7 月 20 日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。
- ◎ アンケートの結果は、統計的に処理しますので、ご回答くださいました方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先

岡崎市役所 企画課企画班 電話(0564)23-6812

**A あなた自身のことについておたずねします**

問1 あなたの性別をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 10歳代  | 2. 20歳代 |
| 3. 30歳代  | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代  | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳以上 |         |

問3 あなたの職業をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| 1. 勤め人(常勤)                   | 2. 学生      |
| 3. 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業など) |            |
| 4. パート・アルバイト                 | 5. 専業主婦(夫) |
| 6. 無職                        | 7. その他( )  |

問4 あなたが、市内にお住まいになっている年数(市外へ転出され戻られた方は通算の年数)をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満       | 2. 5年以上10年未満  |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上      |               |

問5 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか(当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください)。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 3歳以下の同居家族がいる   | 2. 4～18歳の同居家族がいる   |
| 3. 19～64歳の同居家族がいる | 4. 65歳以上の同居家族がいる   |
| 5. 夫婦のみである        | 6. 同居家族はいない(単身である) |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください(番号を○で囲んでください)。別添の参考資料の表紙に掲載している地図を参考にしてください。

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 中央地域  | 2. 岡崎地域 |
| 3. 大平地域  | 4. 東部地域 |
| 5. 岩津地域  | 6. 矢作地域 |
| 7. 六ツ美地域 | 8. 額田地域 |

↓

※お住まいの地域名が分からない場合は、町名をご記入ください。( ) 町)



問8 あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. ずっと住んでいたい    | 2. しばらくは住むつもりだ |
| 3. 市内の他の地域に移りたい | 4. 市外に移りたい     |
| 5. わからない        |                |

問9 あなたは岡州市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に興味がある  | 3. あまり興味がない  |
| 2. ある程度興味がある | 4. まったく興味がない |

↓  
問9-1にお進みください

↓  
問9-2にお進みください

問9-1 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |                      |
|----------------------|
| 1. 自分の暮らし向きに直接関係がある  |
| 2. 市政が身近なものになってきた    |
| 3. 市政に興味がある          |
| 4. 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい |
| 5. その他( )            |

問9-2 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |                     |
|---------------------|
| 1. 自分の暮らし向きに直接関係がない |
| 2. 市政が身近なものでない      |
| 3. 市政に興味がない         |
| 4. その他( )           |

↓  
問9-3にお進みください

問9-3 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

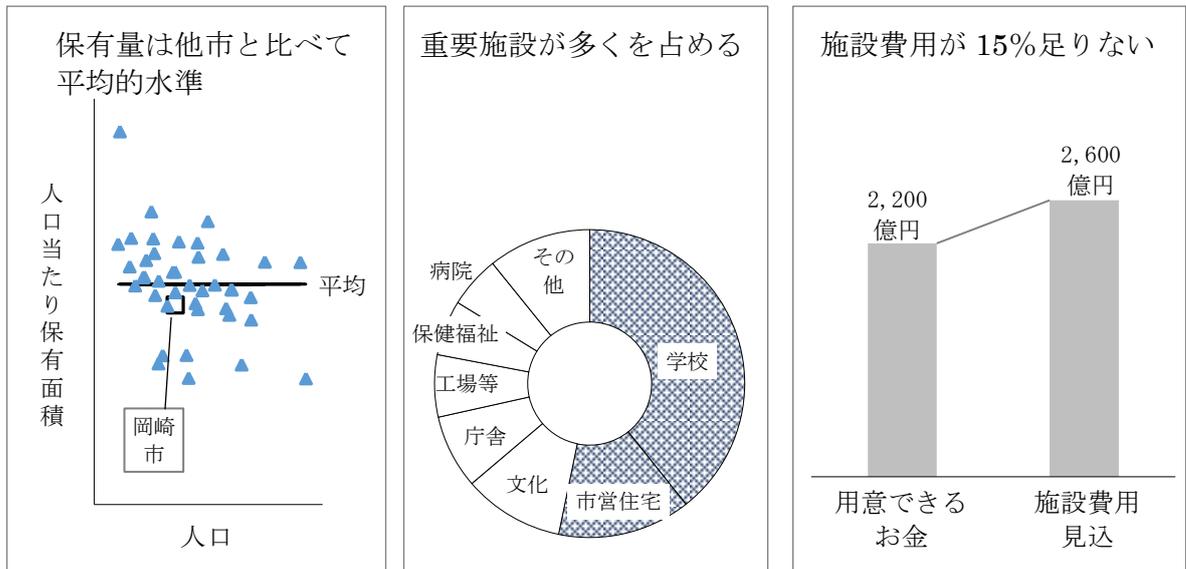
- |  |
|--|
| 1. 市政だよりやホームページ、さまざまなメディア等を用いて、市政情報を積極的に提供する |
| 2. 市政に対する市民参加の機会や、勉強会、講習会等を増やす               |
| 3. 岡崎市をもっと魅力的なまちにする                          |
| 4. 市民の皆さんが誇りに思えるような事業を着実に進める                 |
| 5. わからない                                     |
| 6. その他( )                                    |

**C 市の施設についておたずねします**

**問10** 過去5年の間で市の施設を利用したことがありますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. よく利用している   | 3. あまり利用していない  |
| 2. ある程度利用している | 4. まったく利用していない |

**問11** 全国で高度経済成長期に集中して建設された公共施設は、老朽化が進行し一斉に更新時期を迎えています。なかでも岡崎市の公共施設に関する特徴は以下のとおりです。



このような状況への対策としては、施設の長寿命化や複合化※が有効とされており、「市民センターと地域交流センター」などを複合化する検討が進められています。複合化は、施設サービス水準を落とさずに経費を節減するなどの効果が期待できますが、場合によっては施設移転が生じることもあります。

移転場所の選定にあたり何を重視するか、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 公共交通機関が充実した、地域の中心地であること。     |
| 2. 駐車場が十分確保できる郊外であること。          |
| 3. 他用途(福祉施設など)の既存公共施設用地へ集約すること。 |
| 4. その他( )                       |

※ 複合化 : 近隣にある複数の公共施設を、1棟にまとめて建設すること。または、片方の公共施設へもう一方の施設機能を取り込むこと。

D 市の取組に対する満足度・重要度についておたずねします

問12 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

なお、各施策についてこれまで行ってきた取組みを別添の参考資料に紹介していますので、そちらを参考にご回答ください。

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例)〇〇の充実	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
地域生活・社会	1. 市民自治の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 市民生活の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 安全社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	5. 保健衛生の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 児童福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生都市	11. 社会保障の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 良好な生活環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 環境行動の実践	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
経済	16. 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 農林漁業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市生活基盤	19. 都市魅力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 快適移動社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 生活基盤の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	22. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習・スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市経営	25. 参加と協働による市政の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 効率的な行政経営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 市の取組全般の総合評価 (上記1から26全体の評価)		1	2	3	4	5					

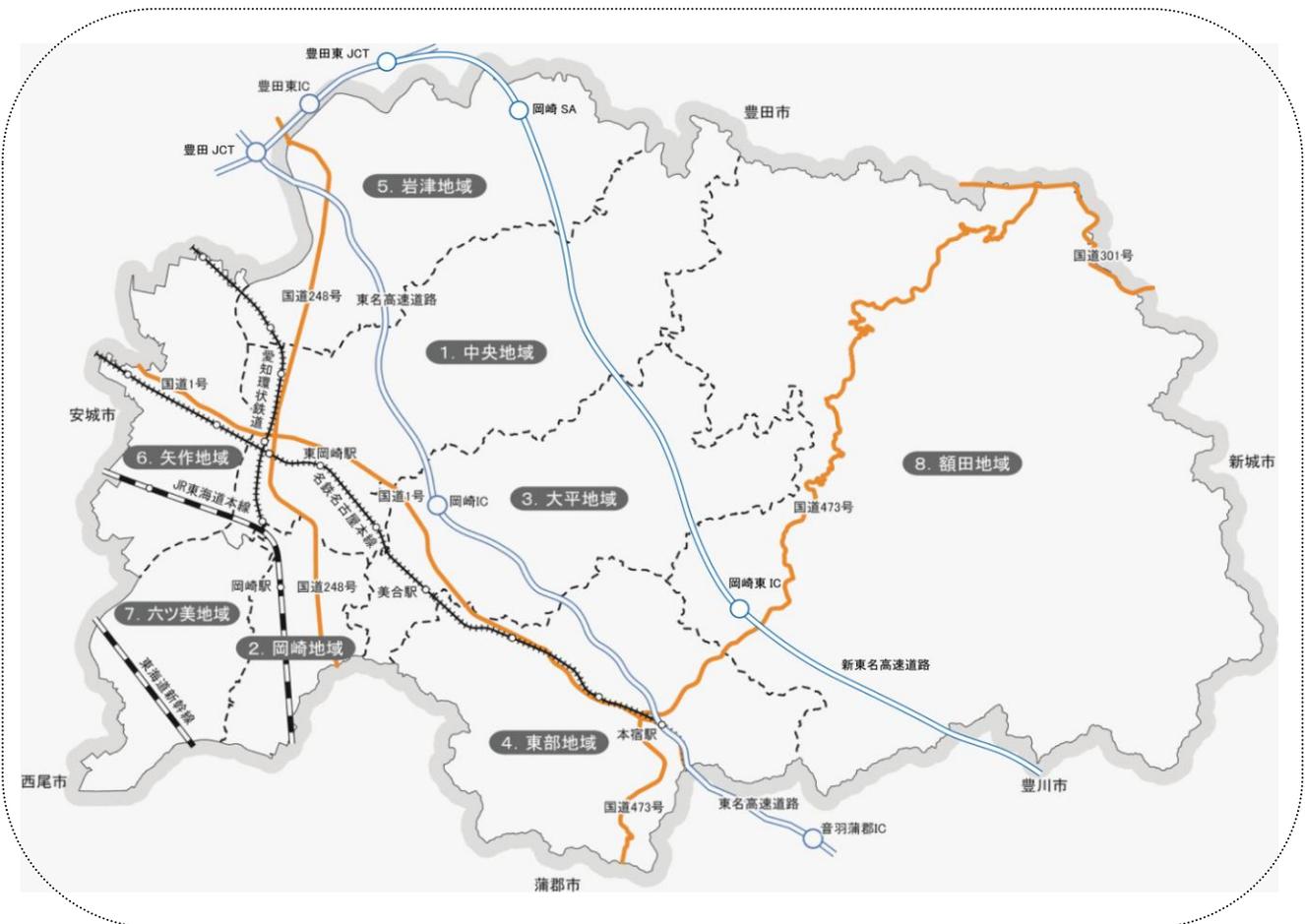
E あなたの自由なご意見をお聞かせください

問13 岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。  
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

# 参考資料

下の地図は、問6 お住まいの地域のご回答の際に参考にしてください。



参考資料:これまでの取組み

(H23満足度・H25満足度の各欄には、当時の調査で「満足している」と「やや満足している」の合計が記入してあります)

基本政策	政策	H23満足度	H25満足度	これまでの取組み
市民生活・地域社会の充実	1 市民自治の実現	28.8%	29.2%	ボランティア・NPOの充実、市民参加・協働の推進に努めています。県内他市で例のない6箇所(りぶら、地域交流センター)で市民活動の支援を行っています。
	2 市民生活の充実	38.7%	36.2%	市民相談の充実、国際化・多文化共生の推進に努めています。配偶者等からの暴力の根絶をめざして、相談窓口を市内二か所に開設する等の支援を行っています。また、男性の家庭参加応援講座や女性の就労支援講座等を実施しています。
	3 安全社会の構築	38.3%	36.0%	防犯教室の開催等を行い、防犯活動の実践を支援しています。また、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の整備及び事故多発交差点の安全対策をしています。
	4 防災体制の充実	35.1%	38.8%	行政が行う「公助」とともに、住民一人一人が自ら行う「自助」や、地域の皆さんが連携して行う「共助」により防災力を向上させるため、防災ガイドマップを全世帯に配布し、また、小学校区別防災カルテを作成しました。
保健・医療・福祉の充実	5 保健衛生の充実	43.9%	49.9%	市民が安心して暮らすために、食品衛生管理の国際標準の導入や、岡崎市食品衛生管理優秀店認定制度の施設数増加を進めています。また、平成28年6月1日に新しい火葬場を供用開始しました。
	6 地域医療の充実	42.1%	46.8%	救急医療体制の充実、市民病院の安定運営に努めています。平成26年度に、岡崎市南部に24時間365日体制で緊急な入院や手術に対応できる2次救急医療機関を誘致し、建設に関する協定を締結しました。
	7 地域福祉の推進	25.2%	25.3%	地域福祉活動や福祉基盤の充実を努めています。一人暮らしのお年寄りの見回り・声掛け活動や健康教室の開催等の活動を行っています。また、緊急時に備え、支援の必要な方にあんしん見守りキーホルダーを配付しています。
	8 障がい者福祉の充実	22.9%	21.1%	障がい児・者が生きがいを持ち安心して暮らせるように努めています。平成29年4月に発達に心配のある子の発達に関する施設「こども発達センター」を新設し、障がい児・者の交流施設「友愛の家」を平成30年度に移転オープンします。
	9 高齢者福祉の充実	25.4%	28.2%	高齢者が安心して暮らせるように努めています。民間事業者との連携やメール配信による情報提供を開始し、高齢者を地域で見守る仕組みづくりを進めるとともに、高齢者やその家族を支援する地域包括支援センターを21箇所に増設しました。
	10 児童福祉の充実	33.8%	30.0%	保育サービスの充実や放課後の居場所づくりなど子育て環境の整備に取り組んでいます。産前産後ホームヘルプサービスや利用者支援事業など、妊娠から子育てまで切れ目ない相談・支援事業を新たに実施しています。
	11 社会保障の充実	25.3%	31.4%	生活困窮者自立支援や生活保護制度の適切な運営等に努めています。国民健康保険では、健診の対象を30歳代まで広げ、人間ドック健診の実施場所を増やす、申込みに電子申請を導入する等受診しやすい環境を整えています。
環境共生都市の実現	12 自然環境の保全と活用	36.8%	38.9%	「水とみどりの森の駅」を整備するなど、豊かな自然とふれあえるまちづくりを進めています。また、岡崎市内に生息する希少な野生動植物の保護・保全のために、県内では愛知県、名古屋市に続いてレッドデータブックおかげぎきを平成26年8月に発行しました。
	13 良好な生活環境の確保	38.5%	41.5%	快適で良好な生活環境が確保できるよう、環境美化、公害の防止、健全な水循環の推進、廃棄物事業者の指導、環境調査の強化に努めています。
	14 地球環境の保全	25.9%	29.3%	太陽光発電、家庭用燃料電池や、電気自動車、PHV車など次世代自動車の購入費補助のほか、生ごみ処理機の購入費補助、地域で行われる資源回収への支援を通じて、環境保全活動の推進に努めています。
	15 環境行動の実践	20.2%	21.3%	市民協働プロジェクトの実践や、環境問題への理解を深めもらうための社会、学校における環境学習等講座(H25～27・147回)の実施を通じて、環境への意識を高めています。

基本政策	政策	H23 満足度	H25 満足度	これまでの取組み
経済の振興	16 商工業の振興	16.8%	16.9%	岡崎ビジネスサポートセンター（OKa-Biz）による中小企業の経営サポートや創業者支援を通じて経済振興に努めています。また、工業団地に企業の誘致を行い、全ての区画が埋まったため、新たな工業団地の造成に取り組んでいます。
	17 農林漁業の振興	10.5%	17.1%	安全で美味しい岡崎産の農産物を市民に紹介し消費を増やすため、農林業祭、道の駅、農遊館等で地産地消を推進しています。また、農業振興のため、田んぼアート、市民農園の支援、農業体験教室、農業塾などを開催しています。
	18 観光の振興	24.9%	35.0%	観光産業都市の創造をめざし、観光事業の推進、観光交流の促進に努めています。伝統ある桜まつり、花火大会の開催や、家康公四百年祭を契機とし、民間事業者と協力した観光PRやおもてなし事業にも取り組んでいます。
都市基盤・生活基盤の整備	19 都市魅力の向上	27.0%	26.3%	市街地の整備、景観の保全・整備等に努めています。平成25年度に東岡崎駅東改札口を供用開始し、また、平成27年度からは東岡崎駅北東街区及び岡崎駅前市の市有地において、民間企業と共ににぎわい創出事業に取り組んでいます。
	20 快適移動社会の実現	22.2%	22.0%	快適に移動できる社会の実現を目指し、公共交通ネットワークの充実、道路網の整備、生活道路の整備に努めています。コミュニティバスの運行等により、通院や買物など日常生活の移動手段を確保・維持しています。
	21 生活基盤の充実	29.3%	35.1%	市民のみなさんが安全で快適に暮らせるよう、公園、河川、住環境（住宅）、上下水道などの整備・維持管理に努めています。1人あたりの公園面積や、下水道普及率、水道普及率のすべてにおいて県内平均を上回っています。
教育・文化の振興	22 学校教育の充実	33.4%	33.6%	児童・生徒が心身ともに健全に成長するよう努めています。自然科学研究機構や地元企業と連携した理科教育の推進、ICTを活用した授業実践等、特色ある教育の推進を図っています。また、義務教育のスタートがスムーズに送ることができるよう幼小小連携を図っています。
	23 生涯学習・スポーツの推進	25.4%	32.2%	市民の皆さんが生涯にわたり学習、スポーツに取り組めるよう、生涯学習、スポーツの機会の提供に努めています。また、図書館交流プラザがらを中心に、市民と協働して生涯学習の講座等を運営しています。
	24 文化の振興	23.9%	31.4%	文化財の保存・活用、文化事業推進に努めています。市民会館の改修工事に着手したほか、「岡崎アート&ジャズ2012」、「あいちトリエンナーレ2013」に続き、「あいちトリエンナーレ2016」を誘致・開催します。
自律した都市経営の実現	25 参加と協働による市政の運営	15.9%	18.2%	市民と行政とのコミュニケーションを活性化させ、市民活動の活性化の支援に努めています。また、平成24年2月からFacebookやTwitterといった新たなツールを活用し、市政情報を積極的に提供しています。
	26 効率的な行政経営の推進	13.6%	16.5%	成果重視の行政経営や健全な財政運営の推進に努めています。今年度は市制施行100周年を記念し、「岡崎さくら100年プロジェクト」として桜の植樹を推進したり、「おかざき100年祭」などの多くのイベントを行い、積極的にシティプロモーションを推進しています。

岡崎市市民意識調査 報告書

平成 29 年 2 月発行

岡崎市企画財政部企画課

岡崎市十王町 2 丁目 9 番地

TEL 0564-23-6812